



BULLETIN

国際会長 “Be the Light of Hope”

アジア会長 “Be the Light of Hope”

東日本区理事 “Step Forward: For the Future, into the World”

2009.7.31 発行 第3号 通巻36号



2008 ~ 2009 年度を振り返り

「前へ、明日へ、世界へ」

- 心をひとつに希望を持って、チャレンジ 2000 -

東日本区理事 清水弘一（仙台青葉城）

今年度スタートしてまもなく世界経済同時不況の嵐が私たちの身の回りにも押し寄せ、厳しい環境の中での私たちの活動でしたが、お一人おひとりのワイズダムへの熱き情熱に支えられ、所定の目標に向かって邁進することができました。心からの感謝とお礼を申し上げ、今年度の主な活動内容を、ここに要約してご報告させていただきます。

基本方針と重点目標の推進

5項目の基本方針（2000名に挑戦する、国際大会を成功に導く、公益法人改革に伴うYMCAに対する寄与、区の財政基盤の寄与、新しい人材の発掘）の下に、5つの重点目標を設定して推進してきました。1,246名は、12年前の東日本区スタート時の会員数です。この長い苦難の時から脱却し、3年後には2000名を達成しようとの方針を立て、新クラブの設立とクラブ会員増強を推進してまいりました。

* 区 2000 プロジェクトの推進

2000名の必須条件として新クラブの設立は欠かせず、毎年度各部1クラブを3年で21クラブを誕生させようと部2000委員会とともに推進してきました。今年度、目標達成には至りませんでした。東京銀座クラブと東京白金高輪クラブが誕生しました。更に、設立進行中・準備中のクラブとして、札幌、東京町田、長野、長野諏訪、仙台南、宇都宮、清水、沖縄、他にも数地区で鋭意進行中です。

* 思いやりと発想の転換

15名未満クラブは、64クラブ中30クラブから28クラブに減少しました。更なる例会の充実、発想の転換が望まれます。メネット事業については、絵本を贈るプログラムは昨年度を上回る約300冊を9YMCA、53ブランチに贈呈しました。今年度の献金総額は、572,300円、また今後のメネットの活性化に向けての話し合いが持たれました。

* YMCA との確かな協働

チャリティランなど各種プログラムへの支援、第21回YVLFの開催、中でも今年度より始めた同盟ステップ研修生への支援、地球市民育成プロジェクト・ユースファンドの募金に対しても、皆さま方より多くのご支援をいただきました。

* 社会的な認知度を高める運動

今年度も各部、各クラブのほとんどが、それぞれの地域でYMCAと協働し、あるいは独自でCS活動を展開されました。一つひとつの内容については割愛させていただきますが、それぞれが工夫と努力を積み重ね、地域を巻き込み、そしてワイズやYMCAのパワーを地域に浸透していただきました。

4年目の「UGP・STOP HIV/AIDS フォーラム」は、横浜、東新部、札幌、山梨の4か所で地域

にマッチしたプログラムの中で行われました。ご協力いただきました「ロールバックマラリアキャンペーン」については、区目標の 600 ネットには達成できませんでしたが、約 350 ネット相当の献金を国際に送金することができました。

また、日に日に深刻化する環境問題に対しては、ワイズメンとしてできることから始めようと、本年 1 月より 3 月まで「省エネキャンペーン」を実施しました。初めての企画でしたが、参加クラブ 31 クラブ、204 世帯、削減量トータル 14,880KW、金額に換算すると 372,360 円の削減となりました。

国際・アジアエリア関係

- * 今年度の国際選挙の結果は、区にとって記念すべき年度でした。2010~2011 国際会長に藤井寛敏君（東京江東クラブ）2009~2012 国際議員に高田一彦君（横浜クラブ）が当選、そして 2 月のアジア MYC において、2010~2011 アジアエリア会長に高田一彦君が選出されました。
- * 昨年、7 月 31 日より 8 月 3 日まで、デンマーク・ヘアニングにおいて国際大会が開催され、42 か国、1,100 名、東日本区より 74 名が参加しました。また、第 12 回 IYC（インターナショナルユースコンボケーション）は、7 月 26 日より 8 月 3 日まで 16 か国、83 名（東日本区 6、西日本区 10）が参加して開催されました。また大会 2 日目には、横浜国際大会のアピールが日本からの参加者全員が壇上に登って行われ、最後は会場に“行くぞ、よこはま！”のシュプレヒコールが響きわたりました。
- * IBC 締結が、熱海グローリークラブとインド Mylapore クラブ、横浜つづきクラブとデンマーク Randers クラブ & ブルガリア Plovdiv とのトライアングル、東京八王子クラブと台湾高雄港クラブの 3 件が行われ、2010 年横浜国際大会への大きな弾みとなりました。

区役員会・部会等の開催とワイズ読本の発行

- * 区役員会は 4 回、委員会は 11 委員会延べ 38 回、常任役員会は毎月開催し、区報 2 回、ワイズメンズワールド（日本語版）4 回、理事通信も通算 13 回、毎月 1 日に発行しました。
- * 部会は、それぞれの部が創意、工夫を凝らし、持ち味十分を出された部会でした。部長のリーダーシップと開催関係者の皆さまに改めて感謝申し上げます。
- * 次期区事業主任・次期部長研修会を 10 月に、次期クラブ会長・部役員研修会は 3 月末、東山荘において 120 名が参加して開催されました。夜にはキャンプファイヤーも行われ、学びと出会いの時を持つことができました。
- * 2 年間に亘る東西両区の共同作業で完成した「ワイズ読本」（ワイズ必携改定版）を発行することができました。新たな気付きと発見があるはずです。ワイズの愛読書として、LT 教材として大いに活用しましょう。この読本を、みんなで育てていく。そんなワイズ読本にしていきたいものです。

横浜国際大会準備委員会（HC）・クラブ周年記念事業・第 12 回東日本区大会

- * 藤井 HC 委員長のもと、今年度、4 回の HC 委員会と各実動委員会が開催され、8 月から開始される登録開始に向けて、その準備と具体的な大会プログラムの内容が検討されています。いかに一人でも多くの参加者を得ることができるか。全員参加で横浜国際大会の成功に向け前進しましょう。
- * 今年度 6 クラブで周年記念事業が行われました。
川越クラブ（10 周年）、松本クラブ（20 周年）、仙台クラブ（60 周年）、熱海グローリークラブ（25 周年）、東京サンライズ（20 周年）、宇都宮クラブ（30 周年）、更なるご発展をお祈りいたします。
- * 第 12 回東日本区大会が十勝クラブのホストで、国内外より 435 名の参加者を得て、「今、北からはじまる 新ワイズダム」のテーマの下、無事盛会裡に終了することができ、前夜祭、チャレンジアート 2009 展、本大会、晩餐会、エクスカーション、どれもが心に残るプログラムでした。

最後に、この一年間、お一人おひとりのワイズダムへのご奉仕に改めて感謝を申し上げ、今年度の理事報告とさせていただきます。ありがとうございました。

RD's Theme: "Step Forward. For the Future and into the World"
Sub-theme: "One Heart with Hope and Challenge 2000 Membership!"

RD Koichi Shimizu(Sendai-Aobajyo)

*** The project team for steady membership increase to 2000**

The Y's Men's Club of Tokyo-Ginza and Tokyo-Shirokane Takanawa were established.

The new club establishment preparation is now on going in Sapporo, Machida, Nagano, Suwa, Sendai, Utsunomiya, Shimizu, Okinawa and several cities.

*** Conversion of conservative thinking and consideration**

The number of less than 15 people club has decreased from 30 clubs to 28 clubs.

The Menettes Committee led the Picture book present activity for YMCA Kinder garden's children and corrected donation 572,300 Yen.

*** Strong partnership with YMCA**

The 21st YMCA Youth Volunteer Leaders Forum, YMCA Staff Step Training and various other programs were sponsored by Y's.

*** Improve YMI status in local societies**

Extended UGP movement to district and local clubs include Roll Back Malaria.

An Ecological Action Program was kicked off. The result of "Save energy campaign" was 14880KW that equilibrated 372360 Yen.

*** Y's Men International & Asia Area**

The result of an international election was very exciting for us. Hirotooshi Fujii was elected 2010~2011 International President and also Kazuhiko Takata was elected 2010~2011 Asia Area President

An analysis of IBC relationship for success of 2010 IC Yokohama was made. One triangle and two regular IBC were signed up.

*** REO Meeting & District Convention**

The REO Meeting was held every month and issued RD-NWES every month. Various program committees were actively held, and a concrete activity was practiced.

The 7 District Conventions were held by each DG's leadership successfully.

The Leadership Training for DGEs & RDEs was held in October and CPEs in March.

"Y's Tokuhonn " (Y's Hand Book) completed by the collaborative activity of both east and west region was issued. It is a very useful text book for leadership training in Y'sdom. Please use it with the district and club.

*** Preparation work for 2010 IC Yokohama**

HC was held four times. The registration will be started in August. The concrete IC program is examined aiming at the start of registration. Let's advance to participate by all members for the success in the Yokohama International Convention.

*** The 12th Regional Convention in Tokachi, Hokkaido.**

The 12th Regional Convention in Tokachi was held with 435 participants on 13,06,2009 that hosted by Tokachi Y's Men's Club. All programs were the remaining and excellent event.

Finally, at this occasion to submit my RD Annual Report let me express my deep appreciations to you all who extended to me a full support for the year 08-09. Thank you very much.

北海道部部長報告

夢を追い続けて

北海道部部長 中田千鶴（札幌クラブ）

1年前、私は「夢は逃げない 逃げるのは自分だ」という主題を掲げて部長に就任致しました。思い返しますと、私が北海道部の皆様にお約束した夢は次の6つでした。

「エイズ・フォーラム」の開催

クラブ訪問

クラブ間の相互訪問の促進

2000 プロジェクト委員会の立ち上げ

新クラブ作りの調査・研究

部のファンド事業の調査・研究

自省をこめて振り返ってみます。

（1）「エイズ・フォーラム」

部、クラブの皆と力を合わせて一番一所懸命に取り組みました。行政、他のNPO団体、大学、高校等々とも強いつながりが出来ました。単発に終わらせてはいけなと、「報告書」も作り、各方面にお配り致しました。大きな成果を挙げることができたと自画自賛しています。

私たちには単に「エイズ・フォーラム」のみではなく、この「エイズ・フォーラム」を通して、奉仕に関心を持つ青年たちを集め、新クラブの核になってもらおうという思いがありました。その点では、完全に失敗でした。エイズは青年を引きつけませんでした。だからこそもっとやる必要があるのか、私たちの方法が悪かったのか、それとも青年を振り向かせるにはもっと他の何かを掲げたほうがよいのか、考えなければいけないと思います。

（2）クラブ訪問

従来、北海道部は各クラブが遠く離れていることもあり、部長訪問は年1回が普通でした。私は、それだからこそより多く訪問しなければならぬと思いました。各クラブに2回、あるいはそれ以上訪問して、離れていては分からないクラブの実情も知り、東日本区や部の思いも理解して頂くことが出来ました。

（3）クラブ間の相互訪問の促進：

原俊彦理事が今期の方針の一つとして卓話の重視を掲げておられます。私も思いは同じでした。各クラブが他クラブに卓話者を派遣して、部会などだけでは出来ないより密度の濃い理解と親睦を計りたいと思いました。現実には帯広

クラブがサポートしているモンゴル留学生を札幌クラブにお呼びしたのが唯一の成果でした。しかし、札幌クラブと札幌北クラブが2日続いていた例会日を調整してもっと相互訪問し易くしよう等という動きも出てきています。

（4）「2000 プロジェクト委員会」の立ち上げ

札幌地区に狙いを定め小委員会を立ち上げ、正式の委員会だけでも7回行いました。その他の訪問、勧誘、話し合いは数えきれません。私たちは、最初、中心テーマを「地域奉仕」に定め、既に地域で活発に奉仕をされている方々を巻き込もうと致しました。しかし、その奉仕とYMCAとを結びつけるには困難がありました。今は原点に戻り、北海道YMCAが取り組んでいる「発達障害児」「不登校児」に関心を持たれる方々、父母の方々を中心にと考えています。難産の子は丈夫に育つと言います。

（5）他地域の新クラブ

北海道には、かつてクラブが存在した小樽のほかに、人口、歴史等から考えてワイズメンズクラブがなければならない都市がいくつもあります。YMCAとも連携して、長期的視野をもって真剣に取り組まなければならない問題です。

（6）部独自のファンド事業

ワイズが存続し、発展するためには必須の課題であるという思いは変わりません。かつてアメリカのワイズを訪れた時、クラブ会費は2~30ドルで、奉仕のお金は総て事業で作出すというクラブを見て吃驚したことを思い出します。経済的にも、時間的にも余裕のある人々がクラブを作るという考えは変えなければならない時期にきているのかもしれませんが、部もクラブもファンド事業を開拓すべきです。

最後に：夢は逃げたか？

夢を追い続けた1年でした。終わってみて、チルチル・ミチルのように「本当は夢なんかなかったんだ」という気はしていません。「とても無理だろう」と思っていたことが、逃げずにやってみると、意外にもなんとかなったことも随分ありました。「やる気があれば夢は向こうからやってくる」というのが今の気持ちです。

北東部活動報告

北東部部長 横倉 純（仙台クラブ）

主題は「健康土台に 生き生きワイズ」副題は前年度より継続で - みんなでやろう、部の再生を - とし、取り組みました。

『健康』である、ということへの強い思い入れがありました。ですが、そのことをどれだけ伝えられたかな～と振り返っています。

目標としては 会員数 15 人以上を目指す（10 クラブ中 6 クラブ） 15 人以上のクラブは更にプラスを目指す 各クラブ 2000 プロジェクトの目指す 3 ケ年計画を立てる、の 3 項目。

は 6 クラブとも達成ならずでしたが は 3 クラブが増に、部全体ではプラス、マイナスで 4 名の増員となりました。これは宇都宮クラブの貢献によるものです。 は全 10 クラブそれぞれ目標を設定しました。

・第 12 回北東部部会

過去 10 年は距離の関係もあり 1 泊での部会でしたが、昨年の第 11 回は宇都宮にて初の日帰り部会を行い、12 回も日帰りとなりました。東北学院大学、仙台泉キャンパスを会場に、参加者数は 72 名。評議会、メネットアワー、部会、パイプオルガンミニコンサート、移動にての懇親会と無事終了。手作り効果もあり登録費のみで若干の剰余金となり、次期会津への献金になりました。



北東部部会

パイプオルガン
ミニコンサート
のチャペル



・評議会

こちら距離の関係により、しばらく宇都宮に固定で開催でしたが、今年度は宇都宮、仙台、盛岡、会津若松と会場を移し開催しました。

8月23日（土）宇都宮

事情により一月遅れの開催となりましたが、年度目標の確認と、2000 についての意義の理解と意識合わせを行った。

9月6日（土）仙台

部会開催に先立ち行い、10 クラブの 2000 の着地目標設定と部 2000 プロジェクト委員を確定、それぞれ確認を行った。

11月29日（土）盛岡

主に 2000 の各クラブの取り組み状況について意見交換を行い、小委員会設置の確認をする。また、評議会出席者への交通費補助の改定を決定した。

4月25日（土）会津若松

仙台、宇都宮それぞれの、2000 小委員会の現状を中心に報告を受け、今後の取り組みについて確認をし、また、各クラブの 2000 委員は 3 年間継続で担当することも確認、合意された。



盛岡
仙台

会津
宇都宮



・部 2000 プロジェクト

山口委員長を中心に展開中。

各クラブ 2000 の最終目標数設定を行った。

新クラブは 3 クラブを目指す。

宇都宮、仙台に新クラブ設立に向けての小委員会を設置、活動展開中。

“EMC・甲府クラブの戦略”を全クラブへ水平展開、会員増強へ取り組み中。

・クラブ公式訪問

部長として少人数のクラブには、会員増強に繋がる何かを、僅かでも貢献できれば、との思いでスタートでしたが、漠然とした訪問となりました。訪問時はそのクラブへの部長としてのテーマを持参せねばならない、との反省です。

関東東部部長を務めて

関東東部部長 佐野 守 (東京グリーンクラブ)

1年間、部長としての働きを終了しましたが、自分なりに努力をいたしましたが、力不足の点が多々あったと反省しております。良い経験と多くの事を学び、今後のワイズ活動に大いに役立てる事が出来ると思っております。

振り返れば、クラブ設立を果たせなかったことが残念ですが、そのためのきっかけは作っており、今後、継続して推進してまいりたいと思います。

各クラブを回った印象では、大いに活発に活動されているクラブと、逆に元気のないクラブがありました。それぞれのクラブで今後、大いに夢を持って、楽しみを増やし、皆が活発に発展していけることを願っております。

2010年の国際大会のアピールも大に行いました。その成功と、さらなるワイズ運動の躍進に向けてこれから、一メンバーとして、しっかりと、積極的に活動をしていきたいと考えております。

皆様の諸々のサポートを頂き、務めを果たせたことに心から感謝を申し上げます。

<活動状況>

主題 “不可能にチャレンジ”
～意志あるところに道あり～

今期目標

- ・関東東部、部の強化及び各クラブの強化の為に各事業主査の働きが最重要と考え推進した。
- ・会員増強及び新クラブ設立の2000プロジェクトを重点推進。
- ・環境問題の認識を深めクラブ内での討議を進めた。

達成状況

- ・会員数の増加は結果としてプラスにはならなかったが、新規入会者が9人となり、各クラブの働きは認めることができる。なお、退会者の理由を精査する。
- ・環境問題に対する意識の表れはゲストスピーカーにその分野のエキスパートを選んでいるクラブが多く、今後もしばらくは継続すると考えられる。

部会概要

- ・08年9月13日(土)上野「ラ・ベルオーラム」に於いて開催。85名参加。メインテーマは2010横浜国際大会アピール。サブテーマは環境問題の講演会(メネット会主催)を行った。



部評議会

- ・08/7/5 08/11/15 09/04/18 全て東京YMCA 東陽町センターにて開催。それぞれ40名以上が出席し、定数を満たした。次期部長: 柏クラブ 次々期部長: 埼玉クラブが決定。

部としての主要活動

- ・2000プロジェクトの推進。東京地区で2件の新クラブ設立の動き。江東地区、豊島区地区。
- ・クラブCS活動で、既存のCSの充実はもとより新規事業計画を真剣に進めるよう要請。

クラブ公式訪問

08年7月～9月迄で関東東部10クラブを訪問

- 7/10 東京ひがし 7/16 東京グリーン
- 7/17 東京北 7/26 所沢 7/28 埼玉 8/8 茨城
- 8/23 川越 9/9 千葉 9/18 東京江東
- 9/28 柏 各クラブ公式訪問
- 09年2月～5月迄で全クラブ第2回目訪問。
- 2/19 東京北 3/14 千葉(柿沼会計が代行)
- 3/14 埼玉3クラブ合同(埼玉Y20周年)
- 3/19 東京江東・東京ひがし合同例会
- 4/15 東京グリーン・東京ひがし合同例会
- 5/9 東京ひがし・茨城合同例会

各クラブの状況概要

- ・埼玉3クラブの協働により、合同例会、CS事業、講演会やイベントへの相互参加を行い3クラブで地域へのアピールを推進している。
 - ・在京クラブでも合同例会の機会を増やし、相互に連携を深めて部全体の活性化に取り組んでいる。
- メネット会、クリスマス会なども合同で行う事が増えてきている。この動きは一層推進したい。

共に生きる喜びを実感した1年

部長主題を「**広げよう共に生きる喜びを**」とし、1年前、スタート時に誓ったことはプロジェクト2000に
 応え、新クラブを設立するため準備に入ることでした。しかし社会環境の悪化や経済状況の厳しさなどで順調に推進することはできませんでしたが、年度内に新クラブ設立が実現したことは皆さんのご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

以下東新部の1年を振り返ります。

1. 重点課題への取組み

年度初めに重点課題として掲げた項目への取組み状況は以下のとおりでした。

(1) CS/YMCAサービスの充実強化

CS/Y サ活動については各クラブの取組みに対し、部支援金の支給申請を募り、4クラブの活動の取組みに対して支援金¥100,000 - を支給いたしました。

また『歌声ひろば』は東京世田谷クラブ、東京南クラブ、東京まちだクラブ、東京コスモスクラブの各クラブの開催により、驚くべき広がり
 で地域の期待を集めています。

高尾の森うたごえバスハイクはさわやかな高尾の森に町田から35名、経堂、下北沢から75名が参加、総勢110名の大合唱でした。マイクロバスやワイズメンバーの車の奉仕で楽しい歌声は多くの思い出を与えてくれました。



高尾の森で歌声高く

(2) ファンド事業への理解と啓蒙

B FをはじめTOF、EF、ASF、JEF、UGPまで各クラブメンバーへのPR、事業理解と目標達成の推進を進めました。東新部部会ではUGP HIV/AIDS講演とUGPへの募金が行われました。

(3) ワイズ内外への広報活動

地域へのプログラム展開に広報活動をより強化し、特に新クラブ設立へのPR活動は顕著でした。またクラブ訪問カードを今期も作成し、クラブメンバーがそれぞれ利用しました。

ホームページ「東新部」には部長メッセージ

東新部部長 堀井 堯（東京南クラブ）を掲載しました。

(4) IBC、DBCの意義と理解

2010年の国際大会開催をひかえ、本格的に国際交流を目指し、積極的にIBC実現に歩みだしました。DBCも部主査主導で実現を目指し、各クラブで協議し、取組みました。

(5) 部内コミュニケーション

部報第1号を7月1日、第2号を1月5日発行し、各クラブ、各事業の取組み状況を部内各メンバーに伝えました。

ホームページ「東新部」に部長メッセージを掲載しました。

部長通信（A4 - 2ページ）を隔月発行し、2000プロジェクト関連のニュースを中心に送信しました。

2. 部会

< 第12回東新部部会開催報告 >

日時：2008年10月4日（土）13：00～15：00

場所：東京YMCA社会体育・保育専門学校

参加者数：130名（メン102名、メネット20名、ゲスト8名）

プログラム：第1部 開会礼拝（聖書、祈り）/ 第2部 部会（部長挨拶、来賓挨拶、区事業主任アピール、エルマークロウ賞伝達 田中博之君、前年度表彰、新入会員紹介、アピール等）/ 第3部 UGP講演会 STOP! HIV/AIDS 「若者の性について考える～子ども達と語るために～」 講師 上村茂仁氏（ウイメンズクリニック・かみむら院長 岡山ワイズメンズクラブメンバー）/ 献金～東日本区UGP活動のために～

東新部部会は130名が参加。今回のメインセッションである上村茂仁氏によってSTOP! HIV/AIDS講演会として「若者の性について考える」と題し講演をいただきました。

今回は東京Y-3のメンバーや、東京YMCA南センターのリーダーも参加し、ロールプレーなどを交えながら、最近の若者たちについて大変興味深いお話を聞きました。

また部会最後でUGP献金へご協力をいただき、合計46,800円を東日本区へ送金させていただきました。



第12回東新部部会

3. 部評議会 (3回)

第1回評議会 2008年7月4日(土)
東京YMCA 社会体育・保育専門学校
出席者 36名

第2回評議会 2008年11月15日(土)
東京YMCA 社会体育・保育専門学校
出席者 27名

第3回評議会 2009年4月18日(土)
東京YMCA 社会体育・保育専門学校
出席者 35名

4. 次期クラブ役員研修会 (4月18日)

次期クラブ会長、副会長、書記、会計、直前会長を対象に「次期クラブ役員研修会」を開催しました。後藤次期部長から部長主題、部活動計画、予算案の説明、事業主査から各事業活動計画の説明が行われました。

5. 部長公式訪問

7月に各9クラブの本例会を公式訪問し、2月から4月にかけては第2例会(役員会)を訪問しました。また各クラブの入会式には立ち会いました。

6. フィンランドBF代表東新部を訪問

フィンランドからBF代表ベッコ・ユボネン氏、息子トンミ・ユボネン君が東新部を訪問し、6月14日部内のメンバー後藤邦夫ワイズ宅に1泊しました。権藤徳彦、西村隆夫両ワイズが都内を案内し、15日歓迎会を行いました。



7. 2000P 新クラブ設立

今期2000プロジェクトの取組みが中心となり、部2000プロジェクト伊藤幾夫委員長と吉田紘子会員事業主査との連携により既存クラブのメンバー増強と新クラブの設立を全力で進めてきました。



東京コスモスクラブと東京まちだクラブが主体となり第10回準備委員会(第1回仮例会)を開催。今後仮例会を続けて新メンバーを募っていく予定です。

東京銀座ワイズメンズクラブ
設立総会

4月4日(土) 東京YMCA 東陽町センター
新メンバー23名 参加91名
チャーターナイト

5月30日(土) 銀座ライオンクラシックホール
新メンバー27名 参加者120名
スポンサークラブ

東京むかで・東京世田谷・東京南



東京銀座クラブの新メンバー

東京白金高輪ワイズメンズクラブ
設立総会

5月16日(土) 東京YMCA 東陽町センター
新メンバー16名 参加48名
チャーターナイト

6月21日(土) 目黒香港園
新メンバー16名

参加者 清水東日本区、佐藤西日本区両理事ほか90名
スポンサークラブ

東京南・東京世田谷・東京目黒



東京白金高輪クラブチャーターナイト

一年を振り返って

あずさ部部長 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩クラブ)

この原稿依頼を頂戴し、一年を終えほっとするのと、もう一年経ってしまったのかとの思いと複雑な気持ちで筆を執っています。期初に掲げた部長主題「おおいに語ろう、夢を持って - 東日本区 2000 への挑戦に向かって - 」に沿って「会員増強、組織の拡大」を目指したものの現実は厳しく、更に昨年末には米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機が世界中を席卷し、ワイズ活動にも少なからず影響を与えるという想定外の事態も発生、残念ながら目標には未達となりました。しかしながら各クラブの例会、行事に参加し、あずさ部各クラブがそれぞれ違った味を持ち活発なクラブ運営、活動をされていることに意を強くしています。何はともあれ一年間お支えいただいた全ての皆様に心より御礼申し上げますと共に、以下一年間の主な活動を纏めさせていただきます。

1. 部会概要、出席人数

第 12 回あずさ部部会

ホスト：東京武蔵野多摩クラブ 99 名参加
日時：2008 年 9 月 15 日(月・祝)13:00～17:00
会場：東京 Y M C A 医療福祉専門学校

第 1 部 開会セレモニー

第 2 部 パネルディスカッション「おおいに語ろう、夢を持って - 東日本区 2000 への挑戦に向かって - 」

第 3 部 歌とスピーチ 陣内大蔵氏「僕と歌と教会」

第 4 部 懇親会



部会パネルディスカッション

2. 部評議会

第 1 回あずさ部「箱根山評議会」

ホスト：東京サンライズクラブ 66 名参加

日時：2008 年 7 月 19 日(土) 11:00～15:00
場所：早稲田奉仕園 日本キリスト教会館
議事：会計決算承認、決算監査報告、次次期部長クラブ推薦、事業計画承認

第 2 回あずさ部「山吹の里評議会」

ホスト：東京たんぼぼスクラブ 74 名参加
日時：2009 年 2 月 7 日(土) 13:00～17:00
場所：東京 YMCA 山手コミュニティセンター
議事：次期部役員選任、次次期部長選出、部選出代議員選出、部監事選出、部則検討委員会設置、会計中間決算報告

第 3 回あずさ部「連雀評議会」

ホスト：甲府クラブ 82 名参加
日時：2009 年 5 月 9 日 土 13:00～17:00
場所：山梨 YMCA 青少年センター
議事：次期部長活動計画承認、次期予算案承認、次期部会開催承認、次期評議会開催承認、部則改定、BF 代表滞在費用の件



あずさ部評議会

3. クラブ公式訪問

7 月 1 日～9 月 27 日 全 11 クラブ 1 回目の公式訪問終了。2 月 10 日～3 月 26 日 全 11 クラブ 2 回目の公式訪問実施。

4. 2000 プロジェクト

あずさ部の空白 4 地域(長野市・小布施地区、諏訪地区、三鷹・武蔵野地区、高尾・相模湖地区)を重点地域に指定し、それぞれが小委員会を編成して新クラブ設立を目指す。

長野班 本年 6 月 17 日には、第 9 回の新クラブ設立準備会を開催。今後設立に

絡めた地域奉仕活動として「エイズフォーラム in 長野」を計画しておりクラブ設立への大きなインパクトとなることを期待している。

諏訪班 12月6日に行われた第4回推進会議を「第1回新クラブ設立準備会」と位置づけ、7月26日には第3回設立準備会開催を予定しており、すでに19名のメンバー候補をリストアップしている。

東京班 八王子地区と武蔵野地区にて新クラブ設立のキーマンとなる有力候補者を模索、検討を進めている。



2000 プロジェクト

4. 部則改定

部則検討委員会を設置し、その答申を得て第3回連雀評議会にて改定案が承認された。第1条では部の地域をこれまでの「東京都新宿区から長野県松本地区」から「東京都、山梨県、長野県」に変更。これは、あずさ部において各地にクラブ新設の動きが活発化しこれまでの表現では収まりきれない可能性があるためである。

5. YMCA サービス・ASF 事業

YMCA との関わりについてアンケート調査実

6. 交流事業

(1) IBC・DBC 締結

東京八王子クラブ：台湾高雄港クラブ
 東京西クラブ：西日本4クラブとペンタゴン
 東京山手クラブ：大阪茨木クラブ

東京サンライズクラブ：京都プリンスクラブ



DBC：東京山手
大阪茨木

IBC：東京八王子
台湾高雄



(2) あずさ夢街道あるき

2006年3月19日第1回新宿～調布を皮切りにスタートした「あずさ夢街道あるき」が2008年12月14日最終点の松本城にゴールイン。合計18回を数えた夢街道あるきの参加者は、全11クラブから延べ358名。部内の交流が盛んになった。



あずさ夢街道あるき



(3) B F 代表来日

Mr.Veikko Juvonen氏と御子息がフィンランドのヘルシンキより来日。

西日本区大会、東日本区大会参加後、6月17日よりあずさ部が担当。6月17日 都内観光及びあずさ部歓迎夕食会、6月18日 高尾山案内及び西クラブ例会出席、6月19日 成田空港より帰国。お世話いただいた各クラブ、Y'sメンの温かいもてなしに感謝。

7. ユース事業

2009スリランカAYCにあずさ部より2名推薦を受ける。

8. CS 事業

(1) CS 事業に対する部助成金

7クラブからの7案件に総額20万円を助成。

(2) 家庭の電気使用量の「削減コンペ」に全11クラブが参加。

9. 広報事業

あずさ部HPの活用

あずさ部ホームページ(トピックスコーナー)に12月20日より「各クラブ卓話者の一覧表」をアップ。クラブ訪問の機会を増やし、交流を深め活性化に寄与している。

“力を集めて広げようワイズの輪”

湘南・沖縄部部長 里吉時夫（横浜ノースクラブ）

1) 総括

理事方針を受けてスタートした“部200作戦”、08.7.1.現在 112 名が 09.4.15 現在 126 名と増加したが、現時点で厚木と金沢八景に入会者があり、さらに、ほかのクラブについても手応えが出てきているので来期に期待したい。

新クラブの設立については、沖縄に会員数 100 名規模の胎動が見られ、その成り行きが注目される。一方、2010 横浜国際大会への参画については、それぞれのクラブがブリティンに専用コーナーを設けて広報に努め、またマーシャル委員の選定等についてクラブ単位での努力が窺える。さらに、YMCA との協働では、従来から 3 か月に 1 度の割合で開催している Y-Y's 協議会がこの 6 月で 45 回を数え、横浜 YMCA が本年度、創立 125 周年を迎えることから、その委員長や記念行事責任者にワイズが参画し、両者の協働・連携は日を追って強まりつつある。その他、ユースや富士山 YMCA への支援等、部として、単年度ではなし得ない継続事業もあり、次期に引き続き実施・実現されることが期待される。

2) 個別事項

部会の開催

08 年 9 月 27 日(土)、YMCA 総主事や区理事をお迎えし、久しぶりで都市型ホテルでの開催に参加者は交流のひと時を共有し、席上、横浜国際大会と東日本区大会のアピールが横断幕を掲げ賑々しく行われた。



“AIDS 文化フォーラム in よこはま” 支援例年、区からの支援とサポートスタッフが活動するこのフォーラム、08 年 8 月 1 日から 3 日間、11 回目となるこのフォーラムでは、期間中延べ 1,800 人が訪れ、ユースクラブ横浜 Y3 の諸君がコーディネートしたセッションも盛会でした。



横浜 YMCA チャリティーランに注力

恒例の横浜 YMCA チャリティーランは 11 回を数え、秋晴れの 10 月 18 日横浜 MM21 地区で浦出直前部長が実行委員長を務め、123 チーム・615 名の選手が参加、これを支える 7 クラブのワイズ、メネットら総出で支援し大きな成果を挙げる事ができた。



クラブ公式訪問

部内各クラブへの公式訪問は昨年就任早々から 11 月の沖縄訪問まで 9 クラブすべてについて実施した。いずれのクラブも、それぞ

れの地域に根差した活動を地元 YMCA と協働して展開していることが直接肌で感じ、クラブ内の親睦に留意している。

以下、クラブの活動状況です。

ア 横浜クラブ

横浜 YMCA125 周年の各記念行事に積極的に関わり、また国際議員(アジア会長)を支えるクラブとしての熱意が伝わってきます。例会に工夫し、訓盲院を訪問したときは白い杖での体験もありました。

イ 沖縄那覇クラブ

部長のクラブ訪問に合わせ、久しぶりに3名の入会式を開催、出席者全員の祝福を受け、クラブはいっそうの活気を取り戻しました。年中行事のアメンボキャンプやスポーツ教室も継続・実施しています。

ウ 横浜ノースクラブ

IBC の韓国・ベテルクラブとは相互訪問などで毎年交流していますが、今年度4月には現地から会長夫妻ら4名が来日、歓迎レセプションでは田口総主事も出席され、いっそうの交流の輪を広げました。

エ 鎌倉クラブ

新入会員のアイディアで、飲茶例会や秋・春の鎌倉散策例会などをとつかクラブの協力を得て合同で開催し、また、パヤオ訪問団支援など鎌倉 YMCA のプログラムにも積極的に関わり、協働の実を挙げています。

オ 横浜とつかクラブ

昨年10月のメネット例会月には1泊2日の箱根・強羅のリゾートホテルでの研修旅行を実施、また毎月の例会を盛り上げるため卓話に工夫し、多彩なビジターを迎えている。鎌倉との

合同例会にも楽しく参加している。

カ 沖縄しいーさぁークラブ

沖縄 YMCA への支援体制の確立と会員相互の交わりを大事にしながら会員増強を目指している。沖縄 YMCA クリスマスに積極的に協力した。部長訪問が沖縄の実情を理解する上で良い機会と期待されています。

キ 厚木クラブ

楽しい例会を目指し、昨年8月に「富士山 YMCA で記念植樹」バスツアーなど、バラエティに富んだ例会を心掛けている。年間4人の入会者を迎え、「うたごえ広場」など、厚木 YMCA と連携した活動を展開しています。

ク 金沢八景クラブ

一度に11名の入会式を挙げて周囲を驚嘆させましたが、地域への年間のプログラムである「チャリティーバザールと芸能祭り」、YMCA のリーダーらを招いての「花火大会」、「ミニバスケットボール連盟への支援」は定着しました。

ケ 横浜つづきクラブ

地域に根差した活動の一つとしてチャリティーランに“みんなの家”のメンバーをスポンサーして支援し、また親クラブのノースクラブと合同例会を開催・交流しました。またユースへの支援も一層積極的に行う方向にあります。

コ ユースクラブ横浜 Y3

「AIDS フォーラム」の項で述べたように、ユースは独自に活発な活動を展開しており、また先ごろの横浜 YMCA125 周年記念行事の一環としてタイ・パヤオセンターから招いた12名の青年達のプログラムには大変積極的に参加しました。

1年を振り返って

富士山部部長 田辺寛司（伊東クラブ）

今期、私は「個性を磨こう！」を部長主題に掲げ、各11クラブが他クラブとは違った個性的な活動をしていただけたようお願いいたしました。各クラブ私の思いに添えていただき、地域に密着した独自の地域奉仕活動、また青少年健全育成活動を心掛けていただきました。1つの事業にメンバー一丸となり協力、参加することがクラブの活性化につながるものと実感しました。東日本区7部のクラブのワイズ活動を見聞きする中で、私たち富士山部各クラブの実施している事業は地域行政、市民からも高い評価を受けていることに部長として大いに誇りを感じた次第です。1年を振り返って見ますと7月の11クラブ、キックオフ

初例会の公式訪問から始まり、部会、役員評議会、部報、部長通信の発行など、あわただしい1年でした。また富士山部全体で支援する熱海YMCAが初の試みとしてチャリティランを企画し、実現いたしました。1年の締めくくりとなる十勝での東日本区大会では、富士山部各クラブの活動報告に1クラブ15秒という時間制限で発表せざるを得なかった事が誠に心残りに感じました。1年間至らぬ私を支えてくれた富士山部全メンバーに心から感謝するとともに、皆様の今後のワイズ活動での活躍を期待いたします。ありがとうございました。

富士山部で初めてのチャリティラン



沢山のボランティアの支えがありました
多様な参加者でした



表彰状は竹内ワイズから



賞品も渡されました

一年の活動のご協力、ありがとうございました

地域奉仕事業主任 山田 敏明 (十勝クラブ)

テーマ「愛する地球の下、自分の出来る地域奉仕を考えよう」

一年間、最も敬愛する清水弘一理事の下、事業主任をお受けし、ワイズメンズクラブの活動の最も基本である地域奉仕事業の責任者として、関わらせていただき、ありがとうございました。ワイズの深さを再認識し、今後のワイズアクティビティをより活発にすべく、事業に取り組んでまいりました。何より、東日本区のメンバーの方々のご奉仕とご協力をいただきました事に対しまして、誠に感謝申し上げます。

地域奉仕事業のテリトリーは、YMCA サービス、CS、ASFですが、是非今まで各クラブで取り組んできた地域奉仕事業に加えて、環境問題の取り組みとして、「環境キックオフキャンペーン」を展開しました。今年度は初年度ということから、会員が取り組み易く、日常生活にもっとも身近なエネルギーである電気の省エネを中心に、意識を高く持ちながらスタートしました。

1. 「環境キックオフキャンペーン」

「省エネ読本」「省エネ実践チェック表」を全メンバーに配布し、環境に対する意識を高める取り組みを行いました。

電気使用量の比較～クラブ各メンバーの、2009年1月分、2月分、3月分と2008年1月分、2月分、3月分の電気使用量を、集計し、集計人数で割った3ヶ月の平均電気使用量と削減量を、取り纏めました。

・参加クラブ 31クラブ (48.4%)

・参加者数 204世帯
 ・削減量 14,880KW
 ・削減額 372,360円 (@20円/KWで換算)

・参加率 30%以上 16クラブ
 ・環境キャンペーン

・省エネ 1位 仙台青葉城クラブ 20.4%
 2位 東京まちだクラブ 17.4%
 3位 東京江東クラブ 17.2%

・参加率優秀賞 三島クラブ95.5% (21/22)
 ・参加率部優秀賞 あずさ部 100% (11/11)

来年度も、山崎新事業主任の号令の下、「省エネキャンペーン2009夏」を展開します。

環境大会といわれる2010年の横浜国際大会に向け、皆さんで取り組みましょう。

2. 新しいASF事業を展開

日本YMCA同盟ステップ研修参加のため、財政・人的面で困難な中小YMCAの研修参加者を支援することを、本年は取り組みました。同盟の調査の結果、埼玉YMCAより支援要請があり、20万円を補助しました。

3. CS及びASF献金、ありがとうございました。

CS及びASF献金そしてお年玉年賀切手の収集に、皆様の積極的な支援を頂き、誠にありがとうございました。

本年度も日本YMCA同盟の地域奉仕事業に、100万円を献金しました。

また、国際へ、ASF資金として、2000ドル(約20万円)の献金を、拠出しました。

会員増強事業報告

会員増強事業主任 久保田康正 (伊東クラブ)

今年度目標各部1クラブ新設100名増員『2000にむけて』をテーマに掲げ展開しました。これは、清水理事の主要課題としてスタートした「東日本区2000プロジェクト」を進めるためばかりでなく、東日本区の会員数の状況を見ると、

このままでは、やがてワイズメンズクラブの衰退につながるなどの危機的な状況を打破するためでもあります。今年度は、昨年度後半にスタートした「会員増強事業」と「東日本区2000プロジェクト委員会」が2000プロジェクト推進の両輪に

なって活動してきました。これが今年度の大きな特徴です。このような動きを具体化するため、次のように会員増強事業を進めてきました。

1. 知人友人キャンペーン

今年度で3年目を向かえる知人友人キャンペーンを例年より期間を長期間で実施(10月より4月迄、4月は入会ポイントのみ)例会が賑やかになり会員獲得につながると思い実施しました。

結果的ポイントを多く獲得したクラブが多くの新入会員獲得につながりました。

2. EMCジャーナルの発行

各クラブの入会式を中心に又特徴的な活動をしている部、クラブを紹介し、EMC活動の助けになればと思い下記のようなEMCジャーナルを4号まで発行しました。



3. 東日本区チャレンジ2000決起大会
1月24日
YMCA 東陽町センターに於いて
2000P 委員



会と合同で開催し、当日130名の参加、第1部では「EMC 甲府クラブの取り組み」をメインに第2部各部検討会第3部各部発表第4部懇親会の4部構成で行いました。会員獲得、新クラブの設立に向け有意義な1日だったと思います。

4. 新クラブ設立

「東京銀座ワイズメンズクラブ」が会員27名で5月30日チャーターナイトを開催



「東京白金高輪ワイズメンズクラブ」が会員16名で6月21日チャーターナイトを開催



5. 会員の増強

2008年7月に1107名で出発、141名の入会者がありましたが退会者107名の多くを数え1141名で終わりました。

部	2008/7	2009/7	増減
北海道部	47	55	+8
北東部	135	135	±0
関東東部	165	160	-5
東新部	150	174	+24
あずさ部	223	219	-4
湘南沖縄部	112	122	+10
富士山部	275	276	+1
東日本区	1107	1141	+34

今年度の会員増強の努力は例年の何倍かの努力をしてきましたが、予想を下回りました。結果としての34名の増加は次年度以降の貴重なデータです。しかし、20年、50年後の各クラブ、そして東日本区の強化のためには、次の対策を立てなければならぬ時に来ていることを痛感しているところです。

国際・交流事業主任年次報告

国際・交流事業主任 辻 剛（横浜つづきクラブ）

1. 目標

今年度は、UGP 活動の底辺拡大と IBC/DBC 活動の活性化を 2 大重点目標としてスタートしました。

そして、東日本区の各事業の目標は以下の通りでした。

- (1) BF：メンバー人当たり 2,000 円以上
（総額 222 万円）
- (2) TOF：メンバー人当たり 1,300 円以上
（総額 138 万円）
- (3) UGP：メンバー人当たり 500 円以上
- (4) FF：メンバー人当たり 500 円以上

2. 総括

2 大重点目標のうち UGP 活動は、とくに上半期において区、部、クラブのそれぞれのレベルで大変活発な活動が展開されたと思います。そして、もう一つの重点目標の IBC/DBC 活動は年度を通じて大きな成果を上げました。総じて 2 大重点目標は、ほぼ達成されたのではないかと思います。

3. 成果概要

(1) UGP 活動の底辺拡大

第 15 回「AIDS 文化フォーラム in 横浜」

8 月 1~3 日、延べ 4,170 名が参加して開催された。52 の発表、21 団体による展示活動、ワイズメン及びワイズユースクラブ横浜-Y3 も参加し、東日本区からは 25 万円を支援しました。

東新部会・STOP! HIV/AIDS 講演会

「若者の性について考える、～子供たちと語るために～」、ホスト：東京南ワイズメンズクラブ、10 月 4 日、医学博士・上村市茂仁氏(岡山クラブ会員)を招いて開催された。部会での献金は UGP のために捧げて下さいました。

第 1 回「エイズ・フォーラム」

主催：北海道部、10 月 26 日、コーディネーターとして医学博士・霜山龍志氏と林茂博氏(東日本区副事務所長)を含む 4 人のパネリストの方々と地元の関係者、若者が参加して開催された。東日本区から 10 万円を支援しました。

第 2 回「エイズ文化フォーラム in 山梨」

甲府クラブ主催、昨年に続いてコーディネーターとして医師・本田美和子氏とパネリスト 5 名の方々が出席して開催されました。若者を含む約 200 名の参加者がありました。東日本区から 10 万円を支援しました。

(2) IBC/DBC 活動の活性化

横浜つづきクラブ(2008.8)

デンマーク・ヘアニングでの国際大会時に Randers クラブ(デンマーク)と Provdiv Club(ブルガリア)とトライアングルの IBC を締結。

熱海グローリークラブ(2008.8)

インドのマドラスクラブと IBC を締結。

東京八王子クラブ(2009.2.25)

台湾の高雄市で高雄ワイズメンクラブと IBC の締結式を挙行。

東京山手クラブ(2009.1.12)

大阪茨木クラブと DBC 締結式を大阪で挙行。

東京サンライズクラブ

20 周年記念式典に合わせて京都プリンスクラブと DBC 締結式を挙行。

IBC アンケートとマニュアル作成

アンケートを実施し、その集計結果も参考に「IBC マニュアル」を作成しました。近い将来、皆様に配布できると思います。

4. ROLL BACK MALARIA キャンペーン

国際協会の呼びかけに応じマラリアの被害の半減のために各クラブに自主参加をお願いし、約 33 万円の献金を頂きました。

5. BF

アジア大会参加のパーシャルグラントに 3 名の応募がありました。

6. 各種献金について

BF, TOF はほぼ目標を達成。FF, UGP は目標を下回りました。

7. 最後に

東日本区のワイズメンの皆様の国際・交流事業へのご奉仕とご協力に対し心より感謝申し上げます。年次報告とさせていただきます。

ユース事業年度報告

ユース事業主任 篠田秀樹（東京江東クラブ）

今年度は「ユースをもっと身近に」を主題に活動して参りました。「ユース NEWS」を、号外を含め計 10 回発行する等、タイムリーにまたわかりやすくユースの活動をアピールすることに努めました。また「ユース NEWS」の中で、東日本区の 3 つのユースクラブの紹介（アピール）も行いました。



ユース事業概要

- 国際ユースコンボケーションは、昨年年 7 月 28 日～8 月 3 日、デンマーク・ヘアニングで開催され、東日本区からは 6 名のユースが参加しました。大会では横浜国際ユースコンボケーション 2010 を大々的にアピールしました。推薦・支援各クラブ、各部のバックアップに心より感謝申し上げます。
- 第 21 回ユースボランティア・リーダーズフォーラムは、昨年 9 月 26 日～9 月 28 日、富士山 YMCA グローバル・エコ・ビレッジにて行われました。開催場所は 2010 年の国際ユースコンボケーション（IYC）を睨んでの選定です。リーダー 38 名の他、見学ワイズは延べ 45 名が参加しました。ワイズスピーチは、阪上照明メン（現東京銀座クラブ）に「HIV 活動の報告」のテーマでお願いしました。
- プルタブ収集事業は、今年度は車椅子 2 台の贈呈を行いました。内 1 台は前年度富士山部より贈呈されたもので、もう 1 台が今年度交換したものです。贈呈先はユースクラブを中心に審査、決定しました。
1 台目は昨年 12 月 7 日（日）、ユースクラブ東京 Y-3 から推薦された、東京都調布市にある『医療法人社団心身会・グループホーム 愉楽』に贈呈しました。この老人介護施設は開設されてまだ日も浅く、車椅子が 1 台しかなく困っておられたので大変喜ばれました。

2 台目は今年 3 月 3 日（火）、ユースクラブ横浜 Y-3 から推薦された「鎌倉車いすと共に歩む会」に贈呈しました。同会は鎌倉 YMCA を事務局に、古都鎌倉での観光バリアフリーマップを作成したり、車椅子での体験学習を行ったりと精力的に活動しています。同会では今まで使用していた車椅子の老朽化が激しく、そろそろ交換の時期を迎えていたようで、大変喜んで頂きました。

今年度は東京グリーンクラブが初の 100 キロ超えをしました。次年度以降、各クラブの大きな目標になるはずですが、収集にご協力頂いた各クラブ、部に感謝申し上げます。

- その他の主な活動は以下の通りです。
メルマガを計 6 回配信（偶数月、毎回 400 名以上に配信）
プルタブ広報ちらしの改訂
人身売買撲滅キャンペーン展開中
パネル展開催、東陽町で開催されたクリスマスオープンハウス等での展示等を行いました。

プルタブ事業の車椅子贈呈先決定のルールをユース事業委員会で策定しました。

終わりにユース支援に向けての土台作りとして、以下のことをお願い申し上げます。

ロースター広告掲載のお願い・・・いまだに東日本区では前年 64 クラブ中 15 クラブの掲載がありません。是非掲載のご協力をお願い致します。

ユース担当委員の選定をお願い致します。卓話者として、ゲストとしてユースを例会に招聘することのお願い致します。

1 年間のお支えに改めまして心より御礼申し上げます。「どうもありがとうございました。」

部	クラブ名	数量 Kg
北東部	仙台青葉城	6.81
	もりおか	6.55
関東東部	東京江東	13.06
	千葉	1.33
	東京グリーン	101.61
	東京北	12.59
	東京ひがし	4.41
東新部	川越	2.44
	東京	22.06
	東京目黒	7.22
	東京まちだ	3.65
あずさ部	東京センチニアル	0.7
	甲府	32.1
	東京武蔵野多摩	13.05
	東京サンライズ	70
	東京八王子	19.25
	東京たんぼぼ	12
湘南・沖縄部	東京セントラル	2.26
	横浜	14.11
	鎌倉	16.5
	厚木	14.55
合計	横浜つづき	16.57
		392.82

文献委員会年次活動報告

文献委員会委員長

上谷喜謙（東京グリーンクラブ）

文献委員会とは、いかなるものか。どんな仕事をしているのかなど御存じない方も多いのではないかと推測されます。この際改めて「東日本区文献委員会規則」から必要と思われる部分を抜粋、ご紹介してから活動報告に入れば、少しはご理解頂けるのではないかと思います。

この会は、東日本区定款施行細則第6条第2項に基づき常置委員会として設けられ、東日本区の活動の指針となる規定、マニュアル、ハンドブック、式文などの改定及び監修、国際憲法、アジア地域運営に関するガイドラインに関わる規約、文献、マニュアルなどに関する事項、理事の指示する文献関連の事項を行うことを目的としているものであります。委員長及び委員は理事が任命することになっています。これだけを前置きにして本文に入ります。

文献委員会は前年度からの継続作業として続けていたロースター&ハンドブックの編集内容についての完成とワイズ用語の改訂についてとが主な活動であった。

ロースター&ハンドブックについては、過去10年間の経緯、編集意図等を検証し、その趣意を理解したうえで内容、順序を検討し、その年度に関わる事項、国際憲法、アジア地域運営に関するガイドライン、東日本区定款、細則、諸規定の順に改め、「会員名簿」に付いては本文中に埋没しないように巻末に独立掲載し、管理徹底を喚起したものに改め作業を終了させ、2008~2009年度から実行に移した。

ワイズ用語集については、これまでに用語の解説等の追加を重ねて来たため、法則性、統一性に若干問題は見られるが、内容的には間違いはないので、全面的な改定は行わず、これまで通りとした。これまでも事実と異なるものが出た場合、追加が出た場合のみ必要に応じて変更、加除を行って来たので、今期もそれを踏襲することにしたが、特に変更、加除することも無く終わった。ただ、この問題は東西各区とも同じ問題であるので共通性を持たせる意味で、東西理事連絡会での話し合いを待って作業を再開することにしていた。しかし、その結果西日本区では東日本区に任せ、そ

れに従うという結論になったと清水理事から連絡をうけた時点では、今期の作業としては間に合わず、来期へ持ち越し、来期の第一優先の仕事とすることにした。

この他では、年度の途中でLT委員会から東日本区「議事法」について、内容検討の要請があり、委員会全体で協議し、監修し文献委員会としての意見等も踏まえて成文化し、LT委員会へ送付した。委員会は年2回開催し、必要に応じての小委員会は、それぞれ開催した。

LT委員会報告

LT委員会委員長

駒田勝彦（甲府21クラブ）

1. 活動報告

(1) 次期部長・次期事業主任研修会

日時：2008年10月25日(土)午前10時~午後6時10分

場所：日本YMCA同盟(四谷)・会議室

参加者：次期理事、次次期理事、次期日本区書記、次期日本区会計、次期理事事務局長、次期部長7名中6名、次期事業主任4名、理事、日本区書記、日本区会計、理事事務局長、YMCA同盟連絡主事、事業主任4名、LT委員11名

主な研修内容

この次期部長・次期事業主任研修会として形になったのが昨年からで、今期が2年目となります。

今回は、原次期理事の強い意向により、次期理事と次期役員の打合せ、懇談の時間を多く盛り込んだプログラムになりました。

プログラム

清水理事の報告

研修 東日本区の現況報告 清水東日本区理事 区役員の心得 元理事 鈴木健次 次期理事の抱負 次期理事 原次期理事

研修 アイスブレーキング

研修 役割別研修 A)次期部長研修 LT委員長 駒田勝彦 B)次期事業主任研修 LT委員 伊丹一之

研修 次期区役員懇談会

研修 まとめ 閉会式

有志による懇親会を行った。

(2) 次期クラブ会長・次期部役員研修会

日時：2009年3月28日(土)午後13時00分
～29日(日)午後13時00分

場所：日本YMCA同盟 国際青少年センター
－ 東山荘

参加者：約120名

主な研修内容

昨年度に引き続き、次期会長、次期部役員研修会を行った。今回は国際会長 V.S.Bashir 氏の出席を得た研修となる予定が間近になりキャンセルとなりました。

今回の研修は、2000プロジェクトと2010年国際大会と次期の会長、部役員の取り組むべき大きな課題をも含む内容豊富な研修会となりました。

プログラム

開会式 清水理事の挨拶

研修 基調講演 「出発点に立って」
国際議員 藤井寛敏氏の講演がありました。

研修 東日本区の現況・・・東日本区理事
清水 弘一
次期理事方針・・・東日本区次期理事
原 俊彦

研修 部役員への役割等の説明
会長グループ、事業主査・事業主任グループに分かれて研修を行った。
夕食・懇親会のあとトーチタイムとして東山荘でなければ出来ない、キャンプファイヤーを実施した。
その後、各部長を囲んでの会がもたれた。

二日目 早朝ウォーキングで東山荘内を散策した。聖日礼拝が中島善子牧師により行われた。

研修 各事業主任による新年度への方針の説明、2000プロジェクト、2010年国際大会の説明が行われた。

研修 YMCAとの協力、IT利用について等が行われた。

閉会式 原 次期理事の挨拶

2. LT委員会

第1回 LT委員会

2008年7月4日(金)午後6時～20時30分(場所：東日本区事務所 以下略)

「LT委員会に望むこと」清水理事 「LT委員会に望むこと」原次期理事 「LT委員長方針及び全体協議」次期部長・次期事業主任研修会 10月25日会場：同盟会議室と決定

次期部役員・次期クラブ会長研修会 2009年3月28日(土)～29日(日)会場：東山荘と決定

第2回 LT委員会

2008年9月12日(金)午後6時45分～8時45分

次期部長・次期事業主任研修会について「議事法」について、その他

第3回 LT委員会

2008年10月10日(金)午後1時30分～8時40分

午後1時30分から次期部長・次期事業主任研修会資料印刷、作成、発送作業 午後6時30分～ LT委員会

次期部長・次期事業主任研修会について最終打合せ 勉強会「議事法」について 次期会長・次期部役員研修会について、その他

第4回 LT委員会

2008年11月14日(金) 午後6時30分～8時30分

次期部長・次期事業主任研修会のふりかえり 次期部役員・次期会長研修会について「東日本区議事に関するガイドライン(案)」について

第5回 LT委員会

2008年12月12日(金) 午後6時30分～8時30分

次期部役員・次期会長研修会について「東日本区議事に関するガイドライン(案)」について協議し文献委員会へ諮問することを決定

第6回 LT委員会

2009年1月23日(金) 午後6時30分～8時30分

次期部役員・次期会長研修会についてワイズ読本の活用について

第7回 LT 委員会

2009年3月13日(金) 午前11時～午後8時10分

午前11時00分から「次期クラブ 会長・部役員研修会」用 Work Book、クラブ運営マニュアル、等の作成作業を行った。 午後6時30分から8時10分 LT 委員会

「次期クラブ 会長・部役員研修会」Work Book の日程及び各係について確認決定した。

文献委員会からの答申「議事進行について」を協議、一部修正し役員会に報告として提出することを決定。

次年度の LT 委員会研修日程を確認決定した。

A) 2009年11月7日(土) 次期部長・次期事業主任研修会 B) 2010年3月 次期会長・次期部役員研修会

第8回 LT 委員会

2009年5月15日(金):6時30分

1年のふりかえり及び次年度計画、委員の確認を行い今期で退任される方々に感謝と慰労が行われた。

東日本区ワイズ基金(JEF)

運営委員会活動報告

東日本区ワイズ基金運営委員会委員長
加藤利榮(横浜とつかクラブ)

1 JEF の現況

前年度繰越 29,287,838 円 (支出金を含む)

今期実績 628,000 円 (内訳別掲)

計) 29,915,838 円

2 今期を振り返って

JEF の現況は上記のとおりです。100万円の目標額には及びませんでした。ご協力いただいた皆さんには心より感謝申し上げます。

当委員会では、今期2回にわたり JEF 委員会を開催し、JEF に関する役割を再確認するとともに、協議結果を踏まえ、2010年横浜国際大会や2000プロジェクトを見据えた JEF の積極的なファンドレイジングを推進してまいりましたが、基金の本旨を考えると、なんと申しても息の長い活動が不可欠です。引き続きご

支援をよろしくお願い申し上げます。

3 今期の促進方策

JEF をいかにすれば有効な成果が得られるかは運営に携わる者に与えられた永遠の課題であります。

個人の慶弔、クラブのイベントや周年行事、あるいはまた2000プロジェクト委員会や区役員会など様々な会合の時を活かし、ワイズメンバー一人ひとりが JEF にご関心を持っていただき、それぞれの役職に応じた特段の広報・支援体制が不可欠となることは申すまでもありません。

4 更なるご協力を

JEF は、申すまでもなく区財務の要であり、2010 横浜国際大会やプロジェクトが相次いで推進される中で、今や JEF が果たすべき役割は一段とその重みを増してきております。

当委員会としては、JEF の PR と促進に関し、部長を始め区役員の皆さんが、各部から選出されている特別推進委員らと連絡を密にし更なるイニシャチブを執っていただけるよう願っております。

5 今期委員の顔ぶれ

JEF の運営に携わっていただいた委員は次のとおりですが、職責委員を除き、次期も同じ委員会構成です。

1) 運営委員(6名)

鈴木健次(東京ひがし) 原昭三(伊東)
山田利三郎(東京西) 加藤利榮(横浜とつか)
清水弘一(職責委員) 菊地弘生(職責委員)

2) 特別推進委員(7名)

山田敏明(十勝) 本多啓夫(宇都宮) 佐野 守(東京グリーン) 中村鐵五郎(東京)
尾内昌吉(東京山手)
遠藤喜七(横浜) 西島智仁(熱海)

組織検討委員会年次活動報告

組織検討委員会委員長

小山正直(東京まちだクラブ)

組織検討委員会委員: 小山正直、青木一芳、浅見隆夫、太田 太、越智京子、小原武夫、

樫村好夫、鈴木健次、高田一彦、藤井寛敏、
吉田明弘（以上 11 名）

委員会の開催

第 1 回 10 月 3 日 出席 委員 9 名、陪席 3 名

第 2 回 2 月 6 日 出席 委員 8 名、陪席 3 名

第 1 回委員会議事内容

清水理事より諮問された下記項目について協議した。

- (1) 東日本区事務所運営規定の制定について
区事務所の運営、業務内容の規定 事務所スタッフの雇用条件（就業規則）等 事務所と区書記、区会計、理事事務局の業務の分担
- (2) 区特別委員会の見直しについて
東日本区の現状（常置委員会 5、事業委員会 6、特別委員会 1、東西合同委員会 3）兼務の委員も含み 166 名の委員
- (3) 区報編集委員会（仮称）の設置について
専門性、継続性、経済性を考慮し文献委員会と検討
- (4) 広義会員の義務について
一般会員との差異・特例の検討
- (5) 休会制度の検討について
会員減少回避のためにも救済制度を検討
各協議事項について意見交換するも結論に至らず、次回に意見集約することとした。

第 2 回委員会議事内容

前回の協議事項につき、専門的見地からの見解も参考にして協議し、答申案を以下のように纏めた。

- (1) 東日本区事務所運営規定の作成について
区事務所の運営の枠組を内規として定むべき スタッフの就業規則制定は実態にそぐわない 東日本区理事と事務所長・職員間で業務委託契約の締結が望ましい
- (2) 区特別委員会の見直しについて
兼務の委員も含み 166 名の委員は、区の会員数（約 1100 名）の 15% に当たる。各委員会の構成員数の適正化に努めなくてはならない
- (3) 区報編集委員会（仮称）の設置について
年度ごとに途切れない委員会の設置が望ましい

(4) 広義会員の義務について

区定款の定める一般会員との差異は、出席率算出からの除外だけだが、他の特例（献金達成率の算定除外など）が望まれる

(5) 休会制度の検討について

区の規定に休会制度がないため、一時休会を望んでも退会せざるを得ない現状に鑑み、会員の減少を回避するためにも対応制度の検討がのぞまれる

次年度への課題

東日本区の組織問題についての検討と併せ、東西日本区の共通の問題について東西合同で検討・協議する小委員会の設置を西日本区へ提案したいと思量する。

歴史は繰り返す

ヒストリアン

吉田明弘（東京西クラブ）

区役員会に部長から議案が提出されることは珍しいのですが、2009 年 4 月の役員会に中田千鶴・北海道部長が「区理事の呼称を区理事長に変更しよう」という提案をしました。

提案趣旨は、理事という呼称は組織の長であることを表現していないので、内外に分かりやすくすべきだ、というものでした。これは、国際憲法、区定款における「Regional Director」の日本語訳の問題でもあるので、東日本区役員会では、西日本区とも協議することにしました。

実は、これとほぼ同じ内容の提案が、2005 年 11 月の区役員会に井田伸太郎・富士山部部長からなされました。このときは、組織検討委員会、常任役員会の検討も経て、区役員会でこの案は否決されました。

私は、この年度の区報にこのことについて書き、この問題が今後、再燃するような気がすると思いました。それは、理事という文言は、one of them という印象があるという、多くの共感があったからです。そのときの私の文章は拙劣で、分かりにくかったので、ここにもう一度書かせていただきます。

前回、私は現行国際憲法の草案づくりに参画し、それに伴う日本区定款改定を起草された奈良信

さん（東京山手）にお話を聞きました。内容は次のとおりでした。

旧国際憲法時代にも、区のトップにあたる人を日本区では「理事」と呼んでいました。この「理事」には、区の代表者である「区理事」としての役割と、国際協会からみると、その区を指導し、世話をすると同時に、国際の決定にも参加する、「International Director（国際理事）」の役割を併せもっていました。

73年の国際憲法改定によって、International Directorの職務は、「国際議員」と、部を代表する「Regional Director」に分かれたのです。定款の改正前とは役割が変わった「Regional Director」を韓国区が「総裁」としました。日本区はそれらのことを承知した上で、やはり、ワイズメンズクラブでは個々のクラブが主体であり、その長はあくまで世話役であるという考えから、「理事」という呼称を引き継いで使用することにしたそうです。当時、理事経験者、理事予定者に相談しても、皆、この考えに賛成されたそうです。そこには、尊敬する先輩が理事だったのに自分の代から「理事長」では落ちつかないという思いもあったのかもしれませんが。

2006年にこのことを諮った東日本区組織検討委員会でも理事を経験された委員全員が、現状の名称のままが良いと発言されました。

現在の理事が、区のトップとして旧国際憲法下よりも大きな責務を担っていることは事実です。ですから言葉としては、理事という名称がしっくりするとは思いません。個人的には、適切な日本語があればと思います。しかし日本語を変えたとしても、国際定款にあるRegional Directorの文言は変わりません。国際でも、地域でも、クラブでも、トップは「President」ですが、区のトップは「Regional Director」です。そこには何か国際憲法の強い意思を感じます。

ひとつは理事には国際協会に代って区を指導、育成する立場にあるということ。もうひとつは、個々のクラブは区に加盟しているのではなく、あくまでも国際協会の綱領に賛同し国際協会に直接加盟しているということであろうと思います。この思いをも包含した日本語の文言はないでしょうか。

また、このような国際憲法、区定款周辺の問題提起があった場合、その検討結果の積み重ねを、

独立して記録しておいて、次に同じような議論が起きたときに、その記録を基にして、どこが問題点なのか、どこに異論があるのか、どこから議論を始めるのかを、当事者が互いにわかるようにしておくことが必要だと思います。

それはまたヒストリアンの役割でもあるのでしよう。

フィンランドからの B F 代表を迎えて

トラベル・コーディネーター

久保田貞視（東京八王子クラブ）

今期はフィンランド・ヘルシンキ（ヨーロッパ地域・Finland-Balticum 区 Katajaiset Y's Men's Club）から、ヴェイコ・ユボネン（Veikko Juhani Juvonen）ワイズと子息のトンミ（Tommi）さんの二人が東日本区にやってきました。6月3日に大阪空港到着で西日本区が対応、東日本区には6月10日に広島からの全日空で羽田着。関東東部千葉クラブの青木 PIP と出迎え、東京見物の後青木ワイズ宅で2泊。11日には千葉クラブの歓迎例会、12日には青木ワイズが十勝のホテルまで同行。十勝の東日本区大会では湘南沖縄部横浜つづきクラブの林ワイズが主に担当されました。前夜祭のレンガ亭では気温摂氏9度の寒さで日本のワイズメンは寒さで震える中、ヴェイコさんは母国の気温と同じで気持ちが良いと驚かし、出席されたワイズ・メネットと楽しく歓談されました。

区大会には外国からは元国際会長のベンソン・ワプル氏夫妻及びアジア会長のリタさんも出席、国際色豊かな区大会となりました。14日には帯広から羽田に。東新部東京まちだクラブの後藤ワイズが出迎え、後藤ワイズ宅で宿泊。15日は後藤ワイズと東陽町 Y M C A センターを訪問、夜は韓国 YMCA ノアでの東新部主催の歓迎会。

16日は東京コスモスクラブの権藤ワイズが横浜国際大会の会場や横浜 YMCA を訪問、夜は東京山手クラブの例会に出席。17日はあずさ部東京サンライズクラブの小山夫妻が浅草やお台場に連れて行き、夜はグラデスであずさ部の歓迎会。18日は、東京八王子クラブ有志と高尾山登山と精進料理、仏教的な精進料理の説明にヴェイコさん

は感心していました。夜は、東京西クラブの例会に出席、卓話は東京 YMCA 廣田総主事の東京 YMCA の現況とこれからについての「今、ワイズに望むこと」は池谷ワイズの通訳で十分理解した模様です。

翌日 19 日は帰国、石井ワイズ (PAP) と成田空港に送り、フィンランド航空で定時に離陸しました。

B F 代表ユボネンワイズ親子共、日本文化、YMCA、ワイズ活動を見聞し、日本の歴史そして日本に残る新旧文化共存にも感心していたようです。二人のスケジュールは超多忙ではあったものの、担当各部・各クラブ・ワイズメンの親切な対応により、充実した東日本区での滞在であったと思われまます。

トラベル・コーディネーターは BF 代表の来訪は事前に知らされていますが、訪日あるいは東日本区への来訪は、アジア TC のスケジュールにより、決まるとすぐに行動に入ります。ワイズの仲間として、国・民族・言語を超えて交流を深め、B F 代表には訪問国のワイズダムの心情を理解させ、良い印象を持って帰国してもらうよう努力することが必要です。

今回アテンドして下さった関東東部・湘南沖縄部・東新部・あずさ部各部長・クラブ会長・ご担当のご協力に改めて感謝申し上げます。

今年も、BF 代表の滞在は嵐のような日程で過ぎ去りました。

ITアドバイザー年次報告

ITアドバイザー

十河 弘 (宇都宮クラブ)

全般：東日本区のホームページ (以下 HP) とメーリングリスト (以下 ML) について書きます。

東日本区内の ML の会長以上による利用状況は今年度は減少傾向です。

・メーリングリスト (ML) の状況

1. E-mail 利用状況

ML は東日本区理事から会長までの公式 ML が 20 種類、2010 横浜国際大会関係が 3 種類、東日本区 305 人任意加入 ML、東西日本区 353 人の任意加入 ML があります。

東日本区理事から会長まで全員に流す公

式 ML は年間約 90 通です。自由意見交換用の東日本区 305 人任意加入 ML は年間 240 通くらい使われて、10 年前に比べて、ブリテンの配信が増え、自由な意見交換が少なくなっています。東西日本区任意加入は年間約 110 通でした。

08/8/20 頃の迷惑メール対策で急遽 ML をストップするため、この日までのデータを取る暇がなかった。対策の結果、現在は迷惑メールの受信はありません。

E-mail 保有率は代理を含んで 87% (昨年度 93%) はじめて前年より減少です。何を意味するかは考えて下さい。

2. いくつかの ML 開設

地域奉仕委員、YVLF、2010 国際大会 HC、2010 国際大会西日本 HC を開設しました。

・ホームページ

HP の今年度の大きな改訂は、Member's Page のパスワードを外したことです。このために、一部の文書は個人情報削除したのもあります。

今年度から追加したものは「東日本区区報」を PDF 形式ファイルで公開したことです。ワイズメンズワールド日本語版は OCR でコード変換して PDF ファイルで HP に掲載、マニュアル類を最新版に変更、毎月の理事通信・事業主任通信等の掲載です。個別のクラブのホームページには LINKS のページでリンクしてありますが、追加はありません。

・ITアドバイザーの交代

ITアドバイザーとして 2001 年 11 月から奈良昭彦ワイズより受け継いで約 7 年半、ML 主体に利用しやすさを考えつつ務めさせていただきました。ホームページは全面更新しようと思いつつ、当初形態が外国らのアクセスの便利さもあり、これを基本的に維持しました。皆様のサポートに感謝いたします。

2 月 14 日 (土) に 4 時間かけて次期 ITアドバイザーの田中博之ワイズへの受け継ぎを完了しました。実務の移行は 6 月末に完了しました。

現在の契約は Webarena Suite2 で、性能上の限界に来ています。昨年末に上位システム Webarena Suite X が出ましたので、移行するのも考えてよい時期でしょう。

東日本区 2000 プロジェクト委員会

年次報告

東日本区 2000 プロジェクト委員会委員長

漆畑義彦 (富士クラブ)

第 1 回東日本区 2000 プロジェクト委員会

日時 2008 年 2 月 9 日 (土) 午後 1 時 ~ 5 時

日本 YMCA 同盟 出席委員 17 中 15 出席

委嘱状交付 2) 各部 2000P 委員長を中心に部の組織を作る事を決定

第 2 回東日本区 2000 プロジェクト委員会

日時 2008 年 4 月 26 日 (土) 午後 2 時 ~ 5 時

日本 YMCA 同盟

出席委員 18 中 15 出席と陪席者 菊地弘生、平原貞美、櫻井浩行

1) 組織編成について各部の案を協議 組織作りが急務

第 3 回東日本区 2000 プロジェクト委員会

日時 2008 年 6 月 29 日 (日) 午後 1 時 30 分 ~ 5 時 日本 YMCA 同盟

出席委員 漆畑義彦、浅見隆夫、越智京子、清水弘一、原 俊彦、高田一彦、栗本治郎、関喜一郎、久保田康正 玉池俊隆、山口俊一、香取良和、伊藤幾夫、眞野範一、峯尾 舜、勝又隆吉、職責委員 鈴木健次、林 茂博、十河 弘 19 名全員出席

- 1) 組織編成について各部の案を提示、各部 2000P 委員会を評議会に計る
- 2) 2000P パンフレットは各部で製作
- 3) マグネット、ストラップのグッズ製作を決定 (シンボルマーク製作する日詰氏)
- 4) 各部担当決定 北海道: 清水次期理事 鈴木健次所長 北東部: 浅見委員 関東東部: 関委員 東新部: 栗本委員 あずさ部: 原次期理事 湘南・沖縄部: 高田委員 富士山部: 越智直前理事

第 4 回東日本区 2000 プロジェクト委員会

日時: 2008 年 8 月 23 日 (土) 13:30 ~ 18:10 日本 YMCA 同盟 出席委員 19 中 13 出席

- 1) 各部活動状況発表
- 2) 特別タスクチーム編成決定 リーダーは北海道: 鈴木健次所長 湘南・沖縄部: 高田委員
- 3) 活動資金の支給規定を 7 月 1 日より施行

する (決定)

第 5 回東日本区 2000 プロジェクト委員会議事録

日時: 2008 年 10 月 11 日 (土) 13:30 ~ 16:30

日本 YMCA 同盟 出席委員 19 中 13 出席

- 1) 各部活動とタスクチームの状況発表
- 2) 統一書式の承認 計画書、活動報告書、支出依頼書
- 3) マグネット、ストラップのグッズの販売促進について依頼
- 4) EMC シンポジウム開催を決定 栗本治郎実行委員長を決定

第 6 回東日本区 2000 プロジェクト委員会

日時: 2009 年 1 月 24 日 (土) 10:00 ~ 11:30

東京 YMCA 東陽町 出席委員 19 中 15 出席

- 1) 各部活動状況発表
 - 2) 午後に開催する決起大会準備
- 東日本区 『チャレンジ 2000 決起大会』開催
日時: 2009 年 1 月 24 日 (土) 13:00 ~ 17:00
東京 YMCA 東陽町センター
2000P の概要 EMC の熱き思い 平原 Y s 講演【甲府クラブの戦略】7 部分科会 140 名の参加

第 7 回東日本区 2000 プロジェクト委員会

1) 日時: 2009 年 3 月 20 日 (金・祝) 13:30 ~ 16:45 日本 YMCA 同盟出席委員 19 中 13 出席

- 2) 各部活動状況発表 報告書とりまとめでの提出を再度依頼 各部の委員会が活発化
- 3) 新クラブ設立のマニュアル漆畑版を起し、2000 部作る、パンフレット栗本委員再検し 2000 部作るともに費用は区とする。(決定)

第 8 回東日本区 2000 プロジェクト委員会

2009 年 5 月 30 日 (土) 日本 YMCA 同盟

日本 YMCA 同盟年次報告

2008-2009YMCA 支援プログラム報告

東日本区連絡主事 山添 訓

・2008-2009 年度全国 YMCA 支援プログラム

全国高校生キャンプ参加費補助 (25 万円)

期間: 2008 年 8 月 13 日 (水) ~ 16 日 (土)

場所: 大阪 YMCA 阿南海洋センター

テーマ：～ Natural and Seamanship ～

参加者：25 名（内東日本区関係 6 名）

概要：

次代の Y M C A の担い手であるユース世代を豊かに育むことをねらいとして 4 回目となる高校生キャンプの実施でしたが、今年も Y M C A が伝統的に大切にしてきたキャンプの手法を用いて、仲間と出会い、様々な違いに出会い、そして神様と出会うことのできるキャンプとなった。

酒井哲雄氏を名誉キャンプ長として迎え、初日の夜と最終日の朝にお話しをいただき、キャンプの大切さなどに関して考える時が与えられ、アクティビティにおいては、阿南海洋センターでの特色を生かし、海でのプログラムを中心に行った。

4 日間を通して、ワイズメンズの支援をはじめ多くの方のお支えにより良きキャンプができましたことに感謝いたします。

第 36 回全国学生 YMCA 夏期ゼミナール交通費補助（25 万円）

期間：2008 年 9 月 12 日（金）～15 日（月）

場所：日本 YMCA 同盟 東山荘

概要：

全国 16 大学 YMCA から学生・OBG、都市 YMCA、教会関係者ら 61 名が集った。

本ゼミナールでは「自由と共生の間で」をテーマとし、私たちが生きていく上で指針となるものはなにかに迫った。浜田進士氏（聖和大学人文学部准教授）をテーマ講師に、芦名定道氏（京都大学院准教授）を聖書研究講師に、プレミエティング講師に矢田早苗氏（特活・アサーティブ・ジャパン）を迎えて開催した。

プレミエティングでは、私たちが社会的な構造の中で、特に性別・性差によって自己の自然な表現を阻められているとしたら、それをどう克服できるのか、なごやかなロールプレイを通じて体験的に学んだ。

今回は学生自身による自主ゼミ発題や、海外派遣プログラムの報告会など盛りだくさんな内容となり、個々の今後のアクションへ向けての

可能性が分かちあわれた。

ワイズ東日本区からの支援に感謝いたします。



アジア・太平洋 YMCA 同盟ユース円卓会議 運営費補助（50 万円）

期間：2008 年 7 月 7 日（月）～11 日（金）

場所：日本 Y M C A 同盟 東山荘

概要：

7 月 7 日 - 11 日東山荘にてアジア・太平洋諸国のユース 29 名（国内 12 名 / 海外 17 名）の参加者を得て、「地球市民：グローバルシティズンシップ」をテーマにワークショップを行った。レクチャー、意見交換、フィールドトリップ、日本の家庭訪問を通じて、現実の日本社会を知り、グローバリゼーションについて考える時が与えられ、地球市民としてのユースの役割についての共通理解を持つことができた。これらのことを机上の空論に終わらせることなく、自分たちの生活の場に帰った後には、それを実践に移しよりよい地球社会を作っていくことを確認した。

ワイズメンズクラブ東日本区からは、理事にご参加いただき、また運営への資金的援助をいただき感謝いたします。

・メネット会による支援プログラム

メネット委員会 2008 - 2009 年度事業「子どもたちに絵本・本を贈りましょう」より支援を頂きました。これにより、2009 年 5 月に北海道・仙台・とちぎ・茨城・埼玉・東京・横浜・山梨の 8 YMCA 5 2 プランチに絵本約 274 冊（総額 40 万円）が贈られました。今事業には、絵本を通して子どもたちに将来の平和への第 1 歩を歩んでほしいという委員会及び東日本

区メネットの皆さんの願いが込められています。支援に感謝いたします。

・ステップ 研修参加者支援

日本 YMCA 同盟は、YMCA 理解とキリスト教理解を深め、そのミッションに基づいたプログラムを展開し、YMCA 管理運営の責任の持てる主事養成のためステップ 研修を実施している。財政・人的に困難な中小 YMCA の研修参加者を支援するため、研修参加費用一部の 20 万円をワイズ東日本区より支援していただいた。

・ユースファンド支援

ユースファンドのプログラムの一つである地球市民育成プロジェクトは、世界の YMCA に連なる、これからの地球の未来を託すユースを毎年 100 名育てていこう！ということで日本 YMCA 同盟が行っているこの取り組みに対し、ワイズ東日本区からも多くの支援をいただいた。ワイズからの支援も含め、2008 年度は目標の 10,000,000 円を超える寄付が寄せられた。2009 年度は地球市民育成プロジェクトが開始され、参加者募集を行っている。

・災害支援プログラム

【海外災害支援】

ミャンマー・サイクロン被災地支援

2,9000 ドルをヤンゴン YMCA とミャンマー YMCA 同盟に緊急支援。今後は、ミャンマー YMCA 同盟がサポートする被災地にあるパティン YMCA の、家族や家を失くした子どもたちのためのプロジェクトに募金を用いていく予定である。

中国・四川地震被災地支援

日本からの 300 万円の支援は、中国 YMCA 全国協会を通して西安 YMCA が行う教育施設への支援と教育費支援、農村地域での教育プログラムの支援にあてられた。2009 年 8 月には「中国四川地震ワークキャンプ」(奈良 YMCA 主管)が実施予定であり、そのために募金を用いる。2011 年までの 3 回について支援をする予定である。

パレスチナ・ガザ YMCA 支援

世界 YMCA 同盟の呼びかけに応じ、世界各国より緊急支援金が寄せられた。日本もそれに協力し、5,000 ドルを送金。ガザ YMCA の紛争下での物資配給、給食、子どもたちへの心理的活動のために用いられた。今後の支援については検討中である。

【国内災害支援】

新潟県中越沖地震被災地への協力

今年度、東京 YMCA が行った以下の支援事業に新潟県中越沖地震災害支援募金を用いて協力した。

1. 妙高デイキャンプ

2008 年 10 月に柏崎市の仮設住宅に暮らす子どもたち 7 名が東京 YMCA 主催の妙高デイキャンプに参加した。参加に関する費用は募金より支援。仮設住宅に暮らす方々の日常の負担も日増しに大きくなっていく中、子供たちが日常の生活から離れ、心から楽しめる時間が貴重な良き体験となった。

2. 志賀高原スキーキャンプ招待

2008 年 12 月と 2009 年 3 月にそれぞれ行われた東京 YMCA 主催の志賀高原スキーキャンプに 12 月 5 名、3 月 6 名の子どもたちの招待がされた。参加に関する費用は募金より支援。東京から参加した同世代の子どもたちとの 5 日間の交流のなかで多くの貴重な体験ができたとの報告を受けた。



2008～2009 年度

C S ・ A S F 献金一覧 (2009/6/30 現在)

部名	クラブ名	会員数	C S 金額 円	ASF 献金 金額 円	お年五年賀切手集計		合計	一人当たり
					枚数	金額		
北海道部	札幌	8	15,000				15,000	1,875
	北見	12						
	十勝	12	25,500	50,000			75,500	6,292
	札幌北	14	14,330		24	3,120	17,450	1,246
北東部	仙台	23	28,750				28,750	1,250
	前橋	9	10,000				10,000	1,111
	宇都宮	33	41,250	16,500			57,750	1,750
	高崎	7	8,750				8,750	1,250
	仙台青葉城	15	18,750	5,000			23,750	1,583
	足利	8						
	会津	6	7,500				7,500	1,250
	宇都宮東	10	12,500				12,500	1,250
	那須	6						
	もりおか	19						
関東東部	東京江東	29	36,250	14,690			50,940	1,757
	千葉	16	20,000	5,000			25,000	1,563
	東京グリーン	26	32,500				32,500	1,250
	柏	13	17,000				17,000	1,308
	埼玉	11	13,750				13,750	1,250
	東京北	14	17,500				17,500	1,250
	所沢	12						
	東京ひがし	20	25,000	5,000	36	4,680	34,680	1,734
	川越	10						
茨城	14							
東新部	東京	37	101,780				101,780	2,751
	東京むかで	17	18,750	13,700			32,450	1,909
	東京世田谷	10	15,000	10,000			25,000	2,500
	東京目黒	8	10,000				10,000	1,250
	東京南	15	18,750				18,750	1,250
	東京まちだ	12	25,940	10,000			35,940	2,995
	東京コスモス	11	13,750				13,750	1,250
	東京センテニアル	32	40,000	5,000			45,000	1,406
	信越妙高	8	4,000				4,000	500
あずさ部	甲府	46	57,500				57,500	1,250
	東京山手	20	25,000		22	2,860	27,860	1,393
	東京武蔵野多摩	17	20,000				20,000	1,176
	東京西	19	25,000				25,000	1,316
	松本	14	17,500				17,500	1,250
	東京サンライズ	20	25,000	5,000	12	1,560	31,560	1,578
	甲府21	22	29,500		16	2,080	31,580	1,435
	東京八王子	22	46,810		34	4,420	51,230	2,329
	東京たんぽぽ	16	20,000	8,000			28,000	1,750
	富士五湖	15	18,750				18,750	1,250
東京セントラル	12	15,000				15,000	1,250	
湘南沖縄部	横浜	17	20,000		120	13,389	33,389	1,964
	沖縄那覇	6						
	横浜ノース	11						
	鎌倉	7	8,750				8,750	1,250
	横浜とつか	10	11,250				11,250	1,125
	沖縄しいーさぁー	7						
	厚木	15	18,750				18,750	1,250
	金沢八景	20						
横浜つづき	19	23,750		6	780	24,530	1,291	
富士山部	熱海	44	55,000		500	65,000	120,000	2,727
	沼津	20	25,000				25,000	1,250
	湯河原	11	13,750				13,750	1,250
	伊東	39	48,750	40,000			88,750	2,276
	三島	22	27,500				27,500	1,250
	下田	16	20,000				20,000	1,250
	熱海グローリー	33	41,250				41,250	1,250
	御殿場	14	16,250				16,250	1,161
	富士	36	43,750				43,750	1,215
	富士宮	22	30,000				30,000	1,364
	静岡	18	23,750				23,750	1,319
合計		1,107	1,319,860	770	97,889	187,890	144,300	

2008～2009年度

TOF・ファミリーファスト献金一覧(2009/6/30現在)

部名	クラブ名	会員数	TOF 金額 円	ファミリーファスト 金額 円	合計	合計 一人当たり
北海道部	札幌	8	15,600		15,600	1,950
	北見	12				
	十勝	12	24,200	10,000	34,200	2,850
	札幌北	14	23,670		23,670	1,691
北東部	仙台	23	29,900		29,900	1,300
	前橋	9	12,000		12,000	1,333
	宇都宮	33	42,900		42,900	1,300
	高崎	7	7,000		7,000	1,000
	仙台青葉城	15	19,500	5,500	25,000	1,667
	足利	8	2,500		2,500	313
	会津	6	6,000		6,000	1,000
	宇都宮東	10	13,000		13,000	1,300
	那須	6				
	もりおか	19				
関東東部	東京江東	29	37,700	19,000	56,700	1,955
	千葉	16	21,800		21,800	1,363
	東京グリーン	26	33,800		33,800	1,300
	柏	13	17,000		17,000	1,308
	埼玉	11	14,300		14,300	1,300
	東京北	14	18,200		18,200	1,300
	所沢	12				
	東京ひがし	20	26,000	5,000	31,000	1,550
	川越	10				
茨城	14					
東新部	東京	37	118,400	5,000	123,400	3,335
	東京むかで	17	22,100		22,100	1,300
	東京世田谷	10	15,600	10,000	25,600	2,560
	東京目黒	8	10,400	4,000	14,400	1,800
	東京南	15	19,500		19,500	1,300
	東京まちだ	12	22,347		22,347	1,862
	東京コスモス	11	14,300		14,300	1,300
	東京センチニアル	32	30,000		30,000	938
信越妙高	8	4,000		4,000	500	
あずさ部	甲府	46	59,800		59,800	1,300
	東京山手	20	26,000		26,000	1,300
	東京武蔵野多摩	17	20,800		20,800	1,224
	東京西	19	29,300	9,500	38,800	2,042
	松本	14	18,200		18,200	1,300
	東京サンライズ	20	26,000	10,000	36,000	1,800
	甲府21	22	28,600	11,000	39,600	1,800
	東京八王子	22	37,120	7,800	44,920	2,042
	東京たんぼぼ	16	20,800	18,000	38,800	2,425
	富士五湖	15	19,500		19,500	1,300
東京セントラル	12	8,400		8,400	700	
湘南沖縄部	横浜	17	20,800		20,800	1,224
	沖縄那覇	6				
	横浜ノース	11				
	鎌倉	7	9,100		9,100	1,300
	横浜とつか	10				
	沖縄しいーさぁー	7				
	厚木	15	19,500		19,500	1,300
	金沢八景	20				
横浜つづき	19	24,700	7,500	32,200	1,695	
富士山部	熱海	44	57,200		57,200	1,300
	沼津	20	26,000		26,000	1,300
	湯河原	11	14,300		14,300	1,300
	伊東	39	78,000		78,000	2,000
	三島	22	28,600	12,000	40,600	1,845
	下田	16	20,800		20,800	1,300
	熱海グローリー	33	49,500		49,500	1,500
	御殿場	14	16,900		16,900	1,207
	富士	36	45,500	10,000	55,500	1,542
	富士宮	22	31,200		31,200	1,418
静岡	18	24,700		24,700	1,372	
	合計	1,107	1,383,037	144,300	1,527,337	

2008～2009 年度
B F 献金一覧 (2009/6/30 現在)

部名	クラブ名	会員数	使用済み切手		現金	合計金額	合計 一人当たり
			量 Kg	金額換算			
北海道部	札幌	8			24,000	24,000	3,000
	北見	12					
	十勝	12			34,000	34,000	2,833
	札幌北	14			2,000	2,000	143
北東部	仙台	23	11	6,600	17,250	23,850	1,037
	前橋	9					
	宇都宮	33			66,000	66,000	2,000
	高崎	7					
	仙台青葉城	15	5	3,030	30,000	33,030	2,202
	足利	8			2,000	2,000	250
	会津	6					
	宇都宮東	10			20,000	20,000	2,000
	那須	6					
	もりおか	19	1	456		456	24
関東東部	東京江東	29	1	810	58,000	58,810	2,028
	千葉	16			32,000	32,000	2,000
	東京グリーン	26			52,000	52,000	2,000
	柏	13			27,000	27,000	2,077
	埼玉	11			22,000	22,000	2,000
	東京北	14			28,000	28,000	2,000
	所沢	12					
	東京ひがし	20			33,049	33,049	1,652
	川越	10					
	茨城	14					
東新部	東京	37	6	3,053	129,000	132,053	3,569
	東京むかで	17	11	6,600	30,000	36,600	2,153
	東京世田谷	10			24,000	24,000	2,400
	東京目黒	8			16,000	16,000	2,000
	東京南	15	0	130	30,000	30,130	2,009
	東京まちだ	12	5	3,879	24,000	27,879	2,323
	東京コスモス	11			22,000	22,000	2,000
	東京センチニアル	32			15,000	15,000	469
	信越妙高	8	3	1,752	4,000	5,752	719
あずさ部	甲府	46	5	3,000	92,000	95,000	2,065
	東京山手	20	1	950	40,000	40,950	2,048
	東京武蔵野多摩	17	3	1,860	32,000	33,860	1,992
	東京西	19	5	3,000	38,000	41,000	2,158
	松本	14			28,000	28,000	2,000
	東京サンライズ	20			40,000	40,000	2,000
	甲府21	22	1	796	44,000	44,796	2,036
	東京八王子	22	4	2,093	46,000	48,093	2,186
	東京たんぼぼ	16	2	1,400	32,000	33,400	2,088
	富士五湖	15	1	600	30,000	30,600	2,040
	東京セントラル	12			24,000	24,000	2,000
湘南沖縄部	横浜	17	6	3,670	32,000	35,670	2,098
	沖縄那覇	6					
	横浜ノース	11					
	鎌倉	7			14,000	14,000	2,000
	横浜とつか	10	4	2,100	18,000	20,100	2,010
	沖縄しいーさぁー	7					
	厚木	15			30,000	30,000	2,000
	金沢八景	20			20,000	20,000	1,000
富士山部	横浜つづき	19	1	600	38,000	38,600	2,032
	熱海	44			88,000	88,000	2,000
	沼津	20			40,000	40,000	2,000
	湯河原	11			22,000	22,000	2,000
	伊東	39	11	6,600	234,000	240,600	6,169
	三島	22	2	1,200	44,000	45,200	2,055
	下田	16			32,000	32,000	2,000
	熱海グローリー	33			66,000	66,000	2,000
	御殿場	14			26,000	26,000	1,857
	富士	36			70,000	70,000	1,944
	富士宮	22			48,000	48,000	2,182
静岡	18			38,000	38,000	2,111	
	合計	1,107	89	54,179	2,047,299	2,101,478	

2008～2009年度

UGP・マラリア対策献金一覧（2009/6/30現在）

災害支援献金一覧（2009/6/30現在）

部名	クラブ名	会員数	UGP 献金	マラリア対策	ミャンマー サイクロン	中国四川地震	パレスチナ・ガザ
北海道部	札幌	8				13,000	
	北見	12					
	十勝	12	17,000	10,000			
	札幌北	14	10,500	9,000			7,000
北東部	仙台	23	12,000	10,000			10,000
	前橋	9					
	宇都宮	33		20,000			10,000
	高崎	7					12,000
	仙台青葉城	15	5,000	10,000	12,000	12,000	20,000
	足利	8					
	会津	6		5,400	3,000	3,000	5,000
	宇都宮東	10		4,500			
	那須	6					
	もりおか	19		9,000	7,578		
関東東部	東京江東	29		15,000			13,000
	千葉	16	8,000	6,000	10,000	10,000	
	東京グリーン	26		10,000			
	柏	13					
	埼玉	11					
	東京北	14		10,000			
	所沢	12			10,500		
	東京ひがし	20	5,000	10,000	15,000	15,000	8,000
	川越	10		4,500			10,000
	茨城	14					
東新部	東京	37		36,000			3,200
	東京むかで	17		9,000			10,000
	東京世田谷	10		10,000			
	東京目黒	8	4,000	4,500			
	東京南	15					
	東京まちだ	12	20,000	9,000	13,000	19,286	10,000
	東京コスモス	11					
	東京センテニアル	32		10,000			10,000
あずさ部	信越妙高	8		4,500	10,000	10,000	10,000
	甲府	46	27,103	9,000	10,330	10,330	30,402
	東京山手	20		10,800			10,000
	東京武蔵野多摩	17					
	東京西	19		22,500			
	松本	14					
	東京サンライズ	20	10,000	4,500	17,500	17,500	10,000
	甲府21	22	11,000	5,000	10,000	10,000	5,000
	東京八王子	22		7,860	50,857	50,859	15,000
	東京たんぼぼ	16	10,000	10,000	20,000	20,000	20,000
湘南沖縄部	富士五湖	15					
	東京セントラル	12		3,000			
	横浜	17		13,000			22,800
	沖縄那覇	6			10,000	10,000	9,000
	横浜ノース	11					
	鎌倉	7					
	横浜とつか	10	4,500				
	沖縄しいーさぁー	7					
富士山部	厚木	15					
	金沢八景	20					
	横浜つづき	19	9,500	4,500			
	熱海	44					
	沼津	20		10,000	10,000	10,000	5,000
	湯河原	11					
	伊東	39		10,000			10,000
	三島	22		9,000	10,000	5,000	
	下田	16					
	熱海グローリー	33		5,000	10,000	10,000	5,000
合計	御殿場	14		4,500	5,000		
	富士	36	10,000	31,500	10,000	10,000	10,000
	富士宮	22					
	静岡	18		6,300			7,250
	合計	1,107	163,603	382,860	244,765	235,975	297,652

注記：災害募金に関しましては東日本区会計の他に各 YMCA を通して、多くの献金をして頂いておりますが、全部を正確に把握ができません。従って区会計に送金された金額のみ掲載させて頂きました。ご了承いただけますよう、お願いいたします。

第12回東日本区大会

第12回東日本区大会は、2009年6月13日(土)に、十勝ワイズメンズクラブのホストで、北海道帯広市で開催されました。十勝クラブはアジア大会をホストした力のあるクラブだけに、素晴らしい大会を準備し実行して下さいました。この紙面では、素晴らしかった大会の様子を伝えることは不可能ですが、写真を入れて、できるだけ雰囲気も含めて説明します。参加人数は426人(メンバー337名、メネット85名、コメント3名、ユース1名)でした。
記：十河

大会の開かれた場所は、帯広駅の南側、駅から徒歩2分の「とかちプラザ」レインボーホール、こんなに便利な場所に会場があるのは初めての経験です。しかも、会場周辺に晚餐会会場のホテル日航ノースランド帯広を含めていくつものホテルがある立地条件の良さも初めての経験です。

とかちプラザに入ると大きなロビー、ここでは受付をはじめ、各種展示、この中にアジア大会の時にクラブを回ったサイン入りバナーには感慨ひとしお、素晴らしい配慮でした。

午後1時に十勝クラブの山下真ワイズと白浜瑞江さんの司会で開会、オープニングセレモニーはとかち帯広YMCA幼保園のかわいい園児たちの歌声は「世界中のこどもたちが」と「アイスクリームの歌」、心なごむ開会前の時間を下さってありがとう。

最初の盛り上がりはバナーセレモニー、ホストが北海道のクラブと言うこともあり、先頭は富士山部からスタート。各部の部長を先頭に入場、司会者のクラブ名、会長名、会員数のコールに応えて会長がクラブバナーを掲げる毎に、歓声とカメラのシャッター、全クラブが揃ったところで、カメラ撮影で静止の時間をとった配慮に感心。感心している暇なく、会長は自分の席へ戻り、ステージ上は開会式の準備。

ここから大会本番の開会式、来賓として北海道知事高橋はるみ様、代理で出席の十勝支庁長竹林孝様、日本YMCA同盟次期総主事島田茂様、アジア地域会長リタ・ヘティアラクチ様、西日本区理事・佐藤典子様を迎え、東日本区は清水弘一理事、菊地会計、十河書記が壇上に上がりました。

最初に清水理事の開会挨拶と開会点鐘、そして大和田二郎ワイズのテナーサクスの伴奏、山下真ワイズの迫力ある指揮でワイズソングの合唱、会場の全員が「いざたて、・・・手をあげ・・・」を合唱し、第12回東日本区十勝大会が幕をあげました。



入り口
ロビーに受付と
展示



開会点鐘



十勝クラブ池田正勝ワイズの聖書朗読と開会のお祈りに続き、来賓の紹介、十勝支庁長竹林孝様、日本YMCA同盟次期総主事島田茂様、アジア地域会長リタ・ヘティアラクチ様、西日本区理事佐藤典子様のお来賓挨拶が続き、東日本区の働きへの賛辞が送られました。また、アジア地域会長リタ・ヘティアラクチ様からは、清水理事へ記念の盾が贈られました。

ここから東日本区アワー、司会は書記の十河、最初は理事報告：五つの基本方針は、2000名挑戦、横浜国際大会の成功、公益法人制度改革に伴うYMCAへの寄与、区財政基盤確立、新しい人材発掘。東日本区スタート時の会員数は1246名、苦難の時から脱却し、全員で2000名を達成したい。2つのクラブ東京銀座クラブと東京白金高輪クラブ誕生。東京銀座クラブメンバー全員を壇上に招いて紹介のハプニングも。全ての活動に触れ、皆さまのご支援に心から感謝しますと結びました。

この後、十河から午前11時からの代議員会決議事項の概要を画面で発表しました。

そして、大切な部長報告。この大会は1日で終わる初の経験、7部の部長報告とメネット委員長報告を33分、秒刻みの予定で、十分な時間はありませんでしたが、要を得た報告をされました。

北海道部中田千鶴部長は「夢は逃げない 逃げるのは自分だ」の主題での成果。北東部横倉純部長は「健康土台に生き生きワイズ」を主題に挙げ、10クラブが活動を推進。関東東部佐野守部長は「不可能にチャレンジ」の主題で10クラブが活動を推進。東新部堀井堯部長は『広げよう 共に生きる喜びを』を主題で、9クラブが、活動を推進。あずさ部宮内友弥部長は、主題に沿って「ワイズとは何か、今後どうあるべきか」を語り合い、ワイズマンとしての誇りを育み「会員の増強、組織の拡大」に繋げて行くことを目指した。湘南・沖縄部里吉時夫部長は「力を集めてワイズの輪」を主題として挙げて、9クラブが、活動を推進。富士山部田辺寛司部長は主題“Brush up your character！”「個性を磨こう！」で11クラブの働きを説明。

松本倫子メネット委員会委員長から今年度のメネットの活動を報告。報告後、島田茂日本YMCA同盟次期総主事に区メネット会から各YMCAへの絵本の目録が贈呈（左側写真）されました。この後、島田茂次期総主事から理事へ感謝状。（右）



島田次期総主事
リタ・ヘティアラクチ様
佐藤典子西日本区理事



北海道部



北東部



関東東部



東新部



あずさ部



湘南・沖縄部



富士山部



メネット委員長



前のプログラムが15分遅れで終わり、40分予定の休憩が30分に短縮された。この休憩時間も、十勝クラブが目玉に据えた十勝ならではののもてなしの時間でした。レインボーホール入り口のスペースにアイスクリームとか様々な喉を潤すものが準備されて、一時の休憩時間を楽しませてくれました。また、東日本区の物品、クラブからの出品もあり、短い時間でしたが交流のひとつになりました。

基調講演は、社会になかなかなじめない人達、不登校や障害者が共に生活する新得町の共働学舎代表の宮嶋望さんの講演でした。心を閉ざした人々も、一緒に生活しながら心を開いていく様子が話されました。牛乳だけでは生活が困難で、チーズ作を作り、ついにはモンドセレクションなど世界各地のチーズコンテストで賞を受けるようになったことも語られ、心に響くお話でした。

基調講演の後は、東日本区アワー、東日本区の表彰です。表彰は、事業主任からの事業ごと表彰では、事業主任が説明、主要な表彰は、ステージ上で理事から会長等へ賞状が渡されました。メネット委員会表彰も行われました。

表彰は非常に多いため、別ページに記載します。

右の写真は、奈良傳賞の奥峪カワイズ：メネットが代理（東京ひがしクラブ）および藤井銀次郎ワイズ（熱海グローリークラブ）と最優秀クラブ賞の十勝クラブ会長中村義春ワイズです。

東日本区アワーの最後は理事、役員引き継ぎ式。司会は元東日本区理事の樫村好夫ワイズが執り行いました。理事就任式は元国際会長の竹内敏朗ワイズの司式で原俊彦理事の宣誓が厳かになされました。

更に、役員、部長、委員長の交代、バナー受け継ぎで式は終わり次期への準備完了。



奈良傳賞

最優秀クラブ賞



午後7時30分からの晩餐会はホテル日航ノースランド帯広のノースランドホールで開催されました。会場入り口では、タキシードの正装になった清水理事の出迎え、これまでの大会になかった配慮です。大会事務局長の渡辺喜代美さんの計画のこまやかさの表れです。

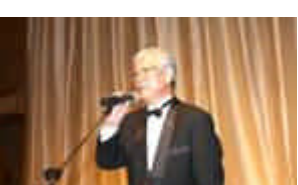
十勝の大地の映像で吉野大地氏のボーカル、斉藤健一氏のキーボード伴奏が静かに流れる中で、オープニング。

JA北海道中央会会長飛田稔章様の祝辞、北海道YMCA 総主事宮崎善昭様の食前感謝の祈りに続いて、元ワイズメンズクラブ国際会長の竹内敏朗ワイズ発声の乾杯で、の大晩餐会が始まりました。

山田敏明実行委員長から、十勝での大会では食事は、牛肉をはじめ食材は皆さんに満足いただけるものをとの熱い想いが披露されました。



晩餐会でのアトラクション、フィンランドからのBF代表、東西来年の大会・アジア大会参加者のアピール、アジア会長から東西理事へ、そして最後は清水理事の閉会挨拶。小さな写真ですが



大会の前日12日の前夜祭、翌日14日(日)の聖日礼拝



前夜祭会場・煉瓦亭ガーデン



十勝クラブ総出で歓迎の前夜祭



司会 山本雅之ワイズ・説教 松井新世牧師

2010 横浜国際大会アピール 第 12 回東日本区大会

第 12 回東日本区大会で、ベンソン・ワブレ大会委員長を加えて 2010 年横浜国際大会のアピール



アピールの最初には、準備委員会事務局長の田中博之ワイズが 2010 横浜国際大会の計画概要を迫力ある映像を使用して説明、続いてベンソン・ワブレ大会委員長が直ちに妻と共に登録したいとユーモアを交えて大会参加をアピール、高田一彦準備委員会副委員長のアピールで「熱海から 35 年京都から 22 年横浜まで後 418 日」をかけた、「行くぞ横浜を」のかけ声で盛り上がり、さあ、横浜へ。



国際大会の準備は、実働委員会で計画が進行中で、プログラムの骨子も決まってきました。大会の内容は下記 URL のウェブサイトに掲載されます。最新情報はこの URL を見て下さい。
<http://ic2010yokohama.web.fc2.com/>

Bulletin ページには、クラブのプリテン掲載用の内容を、画像、PDF、ワード 3 形式で掲載しています。

2008～2009年度

第3回東日本区役員会議事録

日 時：2009年4月11日(土)13:00～17:00 12日(日)8:40～12:00

場 所：東京 YMCA 東陽町センター 視聴覚室

出 席：42名（議決権者16名中16名、委員長等14名出席、次期役員委員長等12名出席〔ただし兼務の人の二重カウントなし〕氏名は末尾に掲載）以下原則として敬称略

第1日目 4月11日(土) 13:00～17:00

1. 開会式 司会：書記 十河 弘

開会点鐘、開会祈祷：越智直前理事、ワイズソング

理事挨拶：今年度は残り90日、今までホップ、ステップ、90日をジャンプでとの挨拶があった。

出席者確認：議決権者16名16名全員出席を確認

オリエンテーション 鈴木所長から

2. 第2回東日本区役員会議事録確認 役員会資料 p3～p6により確認された。

以下の報告は役員会資料による他、強調点を記録として下記に要約

報告後の質疑応答の記録は、各報告記録の中に分散して記載しました。

3. 2008～2009 東日本区の現況報告 東日本区理事 清水弘一

理事報告 理事報告：今年はさまざまなプロジェクトがあり、皆様のご協力に感謝します。2010 横浜国際大会に向けて2000名を目指したい。会員数は本日現在で+113名、300名を目標にがんばりたい。東京銀座クラブ設立、次に東京白銀クラブ設立予定、他にも設立の機運があります。2000名は新しい方法が必要です。UGP、環境キックオフ、東日本区の国際選挙の投票は95%の投票率であった等、全般の動きが報告された。

4. 各部活動報告

- (1) 北海道部部长 中田千鶴：2000プロジェクトは8月に第1回委員会、新クラブの説明会を行い、4月に第2回説明会を開催予定。部のファン作りを進めたい。
- (2) 北東部部部长 横倉 純：2000プロジェクトで新クラブは仙台に1クラブ、宇都宮に1クラブを計画して活動中。
- (3) 関東東部部部长 佐野 守：各クラブが環境への取り組みを目指している。合同例会を開いて会員増強をしながら、在京中心に2クラブくらいの新クラブを作りたい。
- (4) 東新部部部长 堀井 堯：銀座に新クラブ(仮)を設立に進んだことに感謝。5/30チャーターナイトを予定。東京白金・高輪クラブ(仮)は5/16に設立総会、6/21の予定。
- (5) あずさ部部部长 宮内友弥：EMCと2000プロジェクトに努力。1月1日では±ゼロの223名であったが、その後各クラブの努力で+6、-2で是非次期につなぎたい。
- (6) 湘南・沖縄部部部长 里吉時夫：部の活性化のため、拡大委員会を2回開催。会員増強は+14名で126名になっている。
- (7) 富士山部部部长 田邊寛司：275名でスタートし、今年度300超は間違いないと思い現在298名。「個性を磨こう」部長主題で2回目のクラブ訪問。4/19熱海グロリークラブが初島で25周年記念例会、熱海YMCAが5/5にチャリティーランを静岡で開催。

5. 事業報告

- (1) 地域奉仕事業主任 山田敏明：本年度もYMCA同盟に100万円を支援した。次期からASFを自由献金から500円以上にする提案をする。環境は電気使用量について次期も継続したい。
- (2) 会員増強事業主任 久保田康正：知人・友人紹介の結果は主査から会長にお願いする。新会員が入会したクラブは33クラブ。
- (3) 国際・交流事業主任 辻 剛：UGP、IBC、DBCの上半期は活発であった。下半期でTOF、BF、UGPの献金、今のところ目標額を下回っている。献金ゼロのクラブはなぜなのか調べたい。
- (4) ユース交流事業 「ユースをもっと身近に」を今年度の目標にした。車椅子は2団体に寄贈できた。プルリングについてのルールを作りたい。今年のユースボランティア・リーダーズフォーラム実行委員長を務めますのでよろしく。
区事務所 林副所長より補足：プルリングは約6年継続、実績は車椅子3台。650Kgで1台になる。6年で2台、昨年のプルリングで1台だったので増加。プルリングに鍵等の異物が入っていることがあるので出す前にチェックください。

質問：ロシアからのSTEP 予定が来なかった経緯について質問 TC 久保田貞視

答：日本は第2 希望であったが、連絡をしても返事がなかったのでキャンセルとした。

6. 委員会および担当者活動報告

(1) 国際・アジア関連 理事 清水弘一：次期会長・部役員研修会に国際会長 Mr. V.S. Bashir (インド) が来る予定であったが個人事情で来なかった。全世界で会員数を 35,000 名にする方針であったが、29,469 27,486 と 2,000 名減少。インドが 1,482 名減。韓国がエリアとして独立については要望書が韓国から出ていて再編委員会で検討中。

(2) 会計状況報告 会計 菊地弘生：当初 1,150 名～1,300 名で計画した。これを 11 月に 1,107-1,214 名に補正したが 1 月 1 日現在の会員数は +34 名の 1,141 名で補正予算より少ない。支出は円高により助かり、収入 1,900 万円 支出は 1,900 万円以下で 12 万円～20 万円余剰が出る予定。

(3) 文献委員会報告 委員長 上谷喜謙：役員会資料 p29 3. 項 分権 文献に訂正 議事法を検討し LT 委員会に送った。ワイズ用語は、西日本区と一緒に検討するようにとの清水理事のアドバイスがあり、次期に送る。12 名だった文献委員は 2009-2010 年度は 9 名とする。

(4) LT 委員会報告 委員長 駒田勝彦：2008/11/7 に次期部長・事業主任研修会を行った。議事法は 2 年間にわたって検討し、名称は当初「規則」、これから「ガイドライン」、最後は「指針」とし、「議事進行についての指針」として作成したことを報告する。

質問：議事法は、動議に対するマニュアルはロースターに載せるのか。

答：載せて下さい。(駒田)

(5) メネット委員会報告 委員長 松本倫子：2008/11/29 にメネットの集いを開催。2009/2/6 に元委員長と現メネット委員との懇談会を開催。メネット会の活性化を話し合った。種々の意見があるが、2010 横浜国際大会が終わるまでは現状維持とすることとした。

質問：メネット委員長は女性メンバーからも選ぶことに決めたのか。

答：女性メンバーから選べることにした。(委員長)

(6) 組織検討委員会報告 委員長 小山正直：役員会資料 p37 表題 組織検討委員会報告 組織検討委員会報告に訂正 清水理事からの諮問により、区事務所運営規定を検討、労働基準法に基づく規則は不要だが、何か必要との方向。特別委員会は委員数の適正化、区報編集委員会は編成する、広義会員の義務、休会制度について検討が必要である。

(7) 東日本区ワイズ基金運営委員会報告 委員長 加藤利榮：今期実績は 628,000 円。12 件中 6 件で 50 万円、これは全部 2000 プロジェクト指定。特別推進委員は来期も同じメンバー。

(8) 東日本区 2000 プロジェクト委員会報告 委員長 漆畑義彦：クラブ紹介のフラッグバナー(1 本 8,000 円)を作り、7 月のキックオフに各クラブのアピール・バナーを使えるようにする。入会の勧めは栗本委員長の時に作ったが、在庫がなくなったので版下を作成中。ホームページにも掲載したい。今回は無料配布するが、必要以上の部数を持って行かないように調整。

2,000 プロジェクトは 3 年任期、しかしクラブの委員が次期から変更の場合は 5 月中に報告下さいと連絡しているので、部長はフォロー下さい。

質問：バナーは原次期理事の方針にもあるので、次期との関係は。

答：原次期理事の方針を今期から準備する方向にしたい。

(9) 東日本区ヒストリアン報告 ヒストリアン 吉田明弘：大阪クラブ 70 周年に参加したが、70 周年になるとチャーターメンバーはいない。記念誌もここ 10 年くらいのもので、実情は古い資料がないとのこと。東西に分かれたとき、古いものは東日本区保管となった。西日本区にコピーを送るように整理を始めている。

(10) トラベルコーディネータ報告 トラベルコーディネータ 久保田貞視：フィンランドから BF 代表 Mr. Veikko Juvonen と子息の Tommi Juvonen 来日について；6/3 韓国から大阪、6/10 東日本区へ移動し千葉(青木)、6/12 十勝へ、東日本区大会へ、大会中横浜つづき(林)、6/14 帯広発 15:10 羽田着東京まちだ(後藤)、6/15 東新部へ夜 AYC で歓迎会、6/16 東京 Y 東陽町等見学サンルート新宿泊、6/17 あずさ部へ(宮内、小山憲)夜あずさ部歓迎会、6/18 高尾山、夜(東京西例会) 6/19 午前 11 時成田発

(11) IT 関係報告 IT アドバイザー 十河弘：ホームページで、今期は Member's Page をパスワードなしで公開した。ワード、PDF の内容もサブページを検索可能されるクラブのホームページも要注意。IT を担当して 7 年半、今期で退任し田中博之次期 IT アドバイザーに交代する。

- (12) YMCA 関係報告 連絡主事 山添 訓：山田総主事が 5 月末で退任、島田 茂総主事が 6/1 に就任する。ユースファンドは 1,000 万円を超えた。09-10 年の連絡主事は東日本区：山添 訓、西日本区：光永尚生になる。
- (13) 2010 年横浜国際大会準備委員会活動報告 事務局長 田中博之：問題点は国際的不況、後 481 日、経済の好転を願っている。1,500 名の登録を目標とし、京都の 2,500 名に迫りたい。
- (14) 第 12 回東日本区大会関係報告 実行委員長 山田敏明：現在の登録者数 346 名、登録ゼロのクラブが 15 クラブ、会長が登録のないクラブが 29 クラブある。ゴルフ：35 名 メネットツアー-26 名 とかちプラザの座席は 350 席 役員は舞台裏等にする。
書記 十河 弘：東日本区大会関連提出文書、議案・提案書は 4/18 までに東日本区事務所へ、年次報告、大会での報告原稿は 5/15 までに書記へ、メモリアルアワー原稿は 5/15 までに区事務所へ。この後、東日本区アワー原稿の作り方説明

7. 夕食懇親会は 18：30 よりホテルルートイン東京江東にて行われた。

第 2 日目 4 月 12 日(日) 8：00～12：00

8. 聖日礼拝 奨励 十河 弘

9. 議案提案書審議

出席定足数確認：議決権者 15 人 + 理事の出席を確認；書記

議事録作成：書記 十河 弘

議事録署名人として ユース事業主任 篠田秀樹 あずさ部部长 宮内友弥 の 2 名を選任

注記：下記の提案趣旨および提案内容は、概要を記載。正式内容は役員会資料による。

第 1 号議案 次年度の次々期理事推薦の件 提案者：直前理事 越智京子

- 提案内容
1. 次年度の次々期理事 松田俊彦（東京クラブ）
 2. 次年度の次々期理事 推薦にもう少し時間をいただきたい。
 3. 監事 高田一彦

質 疑 なし

採決の結果 決議権者 15 名全員賛成で可決

第 2 号議案 第 14 回東日本区大会ホストクラブ選定の件 提案者：理事 清水弘一

- 提案内容
1. 立候補クラブ 松本クラブ（あずさ部）
 2. 大会会場（予定） 長野県松本文化会館
 3. 宿泊場所（予定） 浅間温泉旅館、市内ホテル
 4. 開催日時 2011 年 6 月 5 日（土）～6 日（日）

質 疑 なし 採決の結果 決議権者 15 名全員賛成で可決

第 3 号議案 2009 年～2010 年度 東日本区理事方針を承認する件 提案者：次期理事 原 俊彦

- 提案内容
- 主 題：「明日^{あした}につなごう、未来につなごう ワイズの灯」
Theme：“ Hand Over Our Torch of Y's Men - to Tomorrow , to the Future ”
副 題：「いま、私たちに出来ること・・・」
2009 - 2010 年度 東日本区理事方針は役員会資料 p47～p48 による

質 疑

訂正：主題の明日にふりがな、英文は一部の単語書き出しを大文字に、Men - to Tomorrow の to の前後に半角スペースを入れる。（上記は修正済みの状態）

質問：クラブバナーをどのように活用するか。

答：7 月のスタートから活用したいので早く準備、例会場に毎回このバナーを掲げて PR。

説明：2000 プロジェクトのバナー作りと共同で行う。2000 プロジェクト（漆畑委員長）のバナー作りは 4 月から 7 月に向けて準備、次期部長がまとめ、渡辺事業主任に報告
資金は 2000 プロジェクトから出す。

質問：バナーからパンフレットも作れるとのことだが、関東東部はパンフレットを作る予定な

のでダブリになる。区で作ると、部は不要になるのか。

答：バナーからパンフレットもできるとの意味。必ず作るのではないので、部でのものとダブリらない。

説明：現理事と次期理事連名で各クラブに準備の依頼をする。

質問：入会パンフレットも作り替えるのか。

答：入会パンフレットは、印刷物の在庫がなくなったので、新しく印刷、無料で配布。

採決の結果 決議権者 15 名全員賛成で可決

第4号議案 2009～2010年度会計予算の件 提案者：次期理事 原 俊彦

提案内容 役員会資料 p50 記載による。

説明：2009/7/1の会員数 1,200名、2010/1/1 会員数 1,300名、2010/7/1 会員数 1,350名で立案。区事務所の会議室の使用頻度が多くなっているため賃料を少し上げた。旅費は少し減少。

質 疑 なし

採決の結果 決議権者 15 名全員賛成で可決

第5号議案 次期東日本区役員の承認について 提案者：次期理事 原 俊彦

提案趣旨 次年度の東日本区役員の承認をお願いします。

提案内容 役員会資料 2009-2010年度東日本区役員名簿による。

訂正：役員会資料 p51 の 2090 を 2009 に訂正

質 疑

質問：奈良傳賞選考委員会委員長、2010 横浜国際大会準備委員長の承認と記載がない。

答：奈良傳賞選考委員会委員長は理事が務めるので承認事項ではない。奈良傳賞選考委員会委員長と国際大会準備委員長は記載の不備で追加する。

質問：承認事項は部長までなので、この後を記載しなくてもいいのでは。

答：名簿の表題を「2009～2010 東日本区役員及び担当委員長一覧」とする。

質問：LT 委員長、組織検討委員長は***委員会委員長が正しい。

第1号議案で可決した監事 高田和彦を加え、LT 委員長を LT 委員会委員長、組織検討委員長を組織検討委員会委員長に変更し、名簿の表題を「2009～2010 東日本区役員及び担当委員長一覧」とすることで、

採決の結果 決議権者 15 名全員賛成で可決

第6号議案 日本 YMCA 同盟 STEP 研修プログラム支援の件 提案者：理事 清水弘一

提案主旨 日本 YMCA 同盟では STEP 研修を実施している。財政・人的面で困難な中小 YMCA の研修参加者を支援するため、研修参加費用の一部を下記の内容により支給する。

注記1 STEP 研修とは

- 1 毎年9月～11月に75日間の予定で東山荘を中心に行われる。
- 2 参加対象は入職3～7年位の中堅スタッフ
- 3 参加費約55万円は所属YMCAの負担
- 4 STEP 研修を終えたスタッフは主事認定の資格を得ることができる。

注記2 東日本区所管内の中小 YMCA：北海道 YMCA、盛岡 YMCA、仙台 YMCA、とちぎ YMCA、前橋 YMCA、茨城 YMCA、在日本東京韓国 YMCA、埼玉 YMCA、千葉 YMCA、山梨 YMCA、熱海 YMCA

提案内容 具体的な実施方法は次の通りとする。

- 1 .このプログラム(以下「本件」という。)は「東日本区 CS・Y サ・ASF 資金運用規定」(以下「規定」という。)に基づく事業として位置づける。
- 2 .本件は、日本 YMCA 同盟に加盟する東日本区所管内の中小 YMCASTEP 研修参加者を対象とする。
- 3 .本件は、日本 YMCA 同盟から推薦のあった研修参加者を対象とする。
- 4 .本件の支援金は、規定の手続きに則り決定する。

5. 本件の原資は、「東日本区 CS・Yサ・ASF 資金」から支出することを確認する。

説明：第 2 回役員会の継続審議 提案趣旨 注記 1 の 2 項「参加対象は入職 3~7 年位の中堅スタッフ」の「入職 3~7 年位の」は第 2 回役員会で削除している、「参加対象は中堅スタッフ」に訂正

第 7 号議案 2009-2010 年度の ASF 献金について 提案者：地域奉仕事業主任 山田敬明

提案内容 来年度の ASF 献金について今までの、自由献金を変更し、500 円以上の任意の献金を、各メンバーにお願いし、50 万円の予算で、事業を行う。

内訳として、国際の ASF 資金 20 万円、STEP 支援 20 万円、区大会担当主事会の旅費等 10 万円 とする。

締切りは、3 月 15 日とする。

また、CS 資金は、今まで通りとし、地域奉仕事業を、より活発的に展開していく。

提案：議長より第 6 号議案と第 7 号議案と一緒に審議したいとの提案 全員異議なし

説明：第 6 号議案は原資の問題で継続審議になったことを清水理事が説明

説明：第 7 号議案について山田事業主任が説明

動議：金額は確定していないので下記のように変更するのがよい。(区事務所長)

「・・・各メンバーにお願いし、集められた献金で、事業を行う。

内訳として、国際の ASF 資金、STEP 支援、区大会担当主事会の旅費等とする。」

質問：2009-2010 年度の とあるのは、この年度のみなのか。

答：できれば続けたいが、その年の事業で決めることになる。

質問：自由献金と任意献金の違いは。

答：自由献金は目標を定めていない。任意献金は一人あたりの目標を定めるので、これを実施すると 500 円アップになる。

質問：中小 YMCA という言い方はあるのか。

答：あいまいな言い方だが中小 YMCA と言っている。中小 YMCA ではワイズのこのプロジェクトを歓迎している。在日本東京韓国 YMCA は在日本韓国 YMCA に訂正、沖縄 YMCA を加えた方がよい。(連絡主事)

質問：CS、ASF の CS はコミュニティーサービス、ASF は国際へ送られていたものと思っていたが、区の 1,250 円はどこに使われているのか。

答：年次報告の CS、ASF の計算書に書かれています。約 150 万円中 100 万円は YMCA 同盟へ、20 万円は国際へ、その他環境などに 20 万円。

意見：部内の意見を聞かないと判断できない。

質問：STEP の報告は出ているのか。

答：報告は出してもらうようにしている。100 万円支援いただいた報告と一緒に出したい。総主事会議で Y's からの支援を歓迎し期待している。(担当主事)

動議：提案内容の表現について提案(区事務所長)

注記：下記は「来年度から・・・」なのか、次々期まで拘束するのはおかしい、などの議論の後の結果である。

次年度の ASF 献金については、今までの自由献金を変更し、500 円以上の献金を各メンバーにお願いする。

集められた献金は従来の ASF 事業を行い、合わせてステップ 研修を支援する。

締切りは、3 月 15 日とする。

また、CS 資金は今まで通りとし、地域奉仕事業をより活発的に展開していく。

役員会資料 p52 の第 6 号議案 提案趣旨の在日本東京韓国 YMCA は在日本韓国 YMCA に訂正、沖縄 YMCA を加えて、第 7 号議案 提案内容を上記動議に変更することで採決。

採決の結果 決議権者 15 名中、賛成 13 名、反対 2 名、棄権なしで可決

なお、本件協議の最中に、議事法により、動議は決議権者のみが出せるのを確認すると動議が出された。これに対して、役員会ではベテランの委員長の意見は貴重なので委員長も動議を出せるようにすべき、議案に対する動議は全員可能で新議案提出は決議権者のみ、等の

意見が出され、「動議は決議権者のみ」の確認は行われなかった。

- 第 8 号議案 “Regional Director” の呼称の変更について 提案者：北海道部部長 中田千鶴
 提案趣旨 現在「区理事」と訳されている“Regional Director”の訳語を「理事長」と変更することを提案致します。
 説明：団体のトップが「理事」という団体は他にない。エイズフォーラム等で官庁と折衝する時、理事長は誰かとか、理事は何人いるのかと聞かれ、説明しなければならない。
 意見：2005-2006 年度に同じ提案が出て、委員会で検討したが現状維持になった。トップが理事というのにはわかりにくく、理事が一番偉いと説明しなければならない。名刺には東日本区代表とか CEO と書けばよいとの意見もあった。理事がトップは日本の社会になじまない。過去の国際協会は日本の理事は国際の理事の 1 人であった。西日本区と一緒に考えてはどうか。等の意見があった。
 議長提案：東西理事連絡会で西日本区と協議するが、これから検討することにする。全員異議なし。
- 第 9 号議案 “District Governor” の呼称の変更について 提案者：北海道部部長 中田千鶴
 提案趣旨 現在「部長」と訳されている“District Governor”の訳語を「ガバナー」と変更することを提案致します。
 中田部長説明：国際が最初に district を統括する役員を“governor”と名付けた背景も、“district governor”が単に“region”の下請け、クラブへの連絡機関ではなく、活き活きと独自の活動を展開することを願ったことであり、東日本区創設の理念と合致するものと思います。単なる呼称にこだわるものではありませんが、本当に「部」を“govern”するのだという期待と決意と自覚をこめて、「部長」を「ガバナー」に変更することを提案致します。
 意見：部長は日本の企業等では実務のトップで重みのある名称なのでそのままよい、部長をガバナーにすると外部にはガバナーとはと説明が必要になる、他の議案は決めないと前へ進まないがこの議案はここで決めず東日本区の総意として決めた方がよい、東西両区で話し合うのがよい。等の意見があった。
 議長提案：東西理事連絡会で西日本区と協議するが、これから検討することにする。全員異議なし。
- 第 10 号議案 「ワイズの信条」の斉唱の標準推奨「モデル」の制定について
 提案者：北海道部部長 中田千鶴
 提案趣旨 現在、さまざまなやり方で行われている「ワイズの信条」の斉唱方法に区として標準推奨「モデル」を制定することを提案致します。
 説明：東日本区では 2000 年、それまで一部のクラブで行われていた「ワイズの信条」をワイズメンズクラブの統一的理念を表すものとして公認し、ロースターに記載することに決定しました。しかし、この斉唱方法は各クラブにより必ずしも一致していません。さまざまな斉唱の仕方が見られます。
 鈴木所長説明：10 年前に中田理事の提案があり、文献委員会でアンケート（斉唱しているクラブは 69%）をとり検討し、ロースターには掲載した。当時の資料を今日の参加者に配布。「ワイズの信条」は国際にはなく、西日本区では使われていない。出所は多分熱海クラブではないとも言われているが正確には不明。かつて元井さんが掛け軸に書いて配布したことから普及した。
 意見：各クラブの自由にしたほうがよい、もう一度アンケートをとる、富士山部では斉唱しているが、自由にした方がよい。等の意見が出た。
 提案者が提案を取り下げ、採決はなしとした。
- 第 11 号議案 4 月 12 日聖日礼拝献金先 提案者：理事 清水弘一
 提案内容 4 月 12 日聖日礼拝の献金先は 2010 年横浜国際大会のためとする。
 採決の結果 決議権者 15 名全員賛成で可決

10. 監事講評：浅見隆夫監事の講評

- (1) 役員会資料のミスプリントも少なく良好であった。
- (2) ゆったり審議でスムーズに進行した。
- (3) 2000 プロジェクトの漆畑委員長、ご苦労様でした。成果が出ています。
- (4) 2010年横浜国際大会は田中博之事務局長の獅子奮迅の努力で例会に行き説明されています。今ひとつ盛り上げられないので、もっと2010年横浜国際大会をPRしたい。

11. 2009年6月までの予定確認

- (1) 部長・事業主任・委員長へ第12回区大会での報告原稿依頼、会長には4/7発送メモリアルアワー原稿依頼済み、原稿締め切りは5/15
- (2) 5/16までに代議員会議案書&招集状発送
- (3) 第4回役員会：2009年6月12日(金) 15:00～ 於 帯広市とかちプラザ
終了後東日本区大会のリハーサル
- (4) 年次代議員会：2009年6月13日(土) 11:00～12:00 於 帯広市とかちプラザ
- (5) 第12回東日本区大会：2009年6月13日(土) 13:00～ 於 帯広市とかちプラザ

12. 閉会式

YMCAの歌、理事閉会の挨拶と点鐘で会を閉じた。

第3回東日本区役員会出席者

理事	清水弘一	直前理事	越智京子	次期理事	原 俊彦	
書記	十河 弘	会計	菊地弘生、	監事	浅見隆夫	
地域奉仕事業主任	山田敏明	会員増強事業主任	久保田康正			
国際・交流事業主任	辻 剛	ユース事業委員長	篠田秀樹	メネット委員長		松本倫子
北海道部部长	中田千鶴	北東部部部长	横倉 純	関東東部部部长		佐野 守
東新部部长	堀井 堯	あずさ部部长	宮内友弥	湘南・沖縄部部长		里吉時夫
富士山部部长	田邊寛司	理事事務局長	竹内 聡	理事事務局参与		村杉克己
東日本区事務所長	鈴木健次	同左副所長	林 茂博			
文献委員会委員長	上谷喜謙	LT委員長	駒田勝彦	組織検討委員会委員長		小山正直
ワイズ基金運営委員会委員長		加藤利榮	2000プロジェクト委員会委員長			漆畑義彦
ヒストリアン	吉田明弘	トラベルコーディネータ	久保田貞視	連絡主事		山添 訓
以下次期役員	*は現の役職と兼務のため二重記載					
理事*	原 俊彦	直前理事*	清水弘一	次期期理事		松田俊彦
書記	長谷川あや子	会計*	宮内友弥	監事*		浅見隆夫
地域奉仕事業主任	山崎常久	会員増強事業主任	渡辺 隆	国際・交流事業主任*		久保田貞視
ユース事業主任	長津 徹	北海道部部长	高杉純二	関東東部部部长		染谷宗治
東新部部长	後藤邦夫	あずさ部部长	松村豪夫	湘南・沖縄部部长*		辻 剛
富士山部部长	鈴木忠雄	理事事務局長	小山憲彦	ITアドバイザー		田中博之
出席者合計	42名					

記録：東日本区書記 十河 弘

議事録署名人

2008年5月11日

ユース事業主任

篠田秀樹

署名



印またはサイン

あずさ部部长

宮内友弥

署名



印またはサイン

2008～2009 年度

第 4 回東日本区役員会議事録

日 時：2009 年 6 月 12 日(金)15：00～15：50

場 所：帯広市とかちプラザ 3F 特別会議室

出 席：28 名（議決権者 16 名中 16 名、委員長等 12 名出席、末尾に氏名掲載）以下原則として敬称略

1. 開会式 司会：書記 十河 弘

開会点鐘、開会祈祷：越智直前理事、ワイズソング

理事挨拶：世界同時不況、新型インフルエンザの中で部長様はじめ、よく活躍下さり感謝との挨拶があった。

出席者確認：議決権者 16 名 16 名全員出席を確認

2. 第 3 回東日本区役員会議事録確認：役員会資料 p3～p9 により確認された。

3. 報告事項（特別な報告）

特別な報告として、沖縄新クラブ設立に向けての報告と課題が取り上げられ、関係者の意見交換が行われた。（細部省略）

4. 議案提案書審議

議長 理事 清水弘一

第 1 号議案 代議員会第 3 号議案 2008～2009 年度 東日本区会計中間決算報告及び会計監査報告を承認する件 提案者：理事 清水弘一

説 明 代議員会資料第 3 号議案の収入の部「差」のプラス・マイナスを逆にし、合計差の上の 0 を削除。支出の部予備費実算の空欄に 0 を入れ、差に 1,243,231 を追加、後期繰越金の差に-5,440,938 を追加する。支出の部合計の差 250,647 を 2,287,272 に変更。（合計の数字は変更なし）代議員会資料は差し替えページを配布する。

支出は国際会費・アジア会費で 40～50 万円の円高差益、印刷費を手作りで 50 万円減、旅費交通費 50 万円増で、6 月末で 20～30 万円残で終わる予定。

質 疑 なし

採決の結果 決議権者 16 名全員賛成で可決

第 2 号議案 代議員会第 4 号議案 2009～2010 年度理事、次期理事、次々期理事、監事指名の件 提案者：役員及び監事ならびに次々期理事指名委員会委員長 越智京子

質 疑 ヒストリアン吉田明弘より高田一彦ワイズはアジア会長と監事が重なるが問題ないか、との質問に対して、本人が了解しているとの答え。

採決の結果 決議権者 16 名全員賛成で可決

河合重三ワイズがオブザーバーで参加していたので、挨拶があった。

第 3 号議案 代議員会第 9 号議案 第 12 回東日本区大会、聖日礼拝献金の件

提案者：理事 清水弘一

質 疑 なし

採決の結果 決議権者 16 名全員賛成で可決

第 4 号議案 2008～2009 年度表彰の確認の件 提案者：理事 清水弘一

提案内容 役員会資料 p10～13 記載による。

質 疑 なし

採決の結果 拍手で承認

4. その他報告事項等

(1) 東日本区区報第 3 号

発行予定 2009 年 7 月 31 日

原稿依頼 本日 2009/6/12 原稿は 7 月 10 日までに十河まで

(2) 東日本区大会の進行について説明

12. 閉会式

理事閉会の挨拶と点鐘で会を閉じた。

第 4 回東日本区役員会出席者

理 事	清水弘一	直前理事	越智京子	次期理事	原 俊彦
書 記	十河 弘	会 計	菊地弘生	監 事	浅見隆夫
地域奉仕事業主任	山田敏明	会員増強事業主任	久保田康正	国際・交流事業主任	辻 剛
ユース事業主任	篠田秀樹	北海道部部长	中田千鶴	北東部部部长	横倉 純
関東東部部部长	佐野 守	東新部部部长	堀井 堯	あずさ部部部长	宮内友弥
湘南・沖縄部部部长	里吉時夫	富士山部部部长	田邊寛司	理事事務局長	竹内 聡
理事事務局参与	村杉克己	東日本区事務所長	鈴木健次	文献委員会委員長	上谷喜謙
LT 委員長	駒田勝彦	組織検討委員長	小山正直		
ワイズ基金運営委員会委員長		加藤利榮	2000 プロジェクト委員会委員長		漆畑義彦
ヒストリアン	吉田明弘	トラベルコーディネーター		久保田貞視	
連絡主事	山添 訓	出席者合計：28 名			

記録：東日本区書記 十河 弘

なお、閉会后 18:30 まで、大会会場にて、部長報告および表彰式のリハーサルを行った。

2008～2009年度

東日本区代議員会議事録

記録作成 書記 十河 弘

日 時 2009年6月13日 11:00～12:00

場 所 とかちプラザ 視聴覚室

出席者 最後のページに記載（以下敬称略）

- 司会 東日本区書記 十河 弘
東日本区理事 清水 弘一
1. 開会点鐘
2. ワイズソング ー 同
3. 聖書朗読・開会祈祷 東日本区直前理事 越智京子

4. 開会挨拶 清水 弘一

ここの十勝でアジア大会が開催されてから10年、同じ十勝で第12回東日本区大会が開けることを楽しみにしています。思いもかけない世界同時不況の中での各部の働きに感謝します。この代議員会で報告と計画を審議下さい。

5. 定数確認：書記 十河 弘

午前10時59分現在 委任状15通 出席57人（注記：開会后出席代議員4名、計61名出席）
代議員総数は配付資料に資料作成後チャーターの東京銀座クラブ千葉 領会長を加えて81名
代議員会成立は81名の2/3以上、委任状を含めて54名以上で成立なので、代議員会は成立。
注記：オブザーバーとして2010国際大会委員長のMr. Benson Wabureが代議員会前半出席。

6. 資料確認：書記 十河 弘

配布代議員会資料：P15の訂正ページ

その他の資料：【2010年横浜国際大会】ご奉仕いただける方の募集（アンケート回答依頼）及び奉仕可能者リスト

7. 議 事

議長 清水 弘一

第1号議案 2007～2008年度 決算報告及び会計監査報告を承認する件

提 案 者 東日本区直前理事 越智京子

東日本区直前理事 越智京子が議案書により説明 p4の標題2006～2008を2007～2008に訂正
質疑なし 賛成挙手多数で可決

第2号議案 2008～2009年度 東日本区年次報告及び行政監査報告を承認する件

提 案 者 東日本区理事 清水 弘一

議長の清水弘一提案のため議長を直前理事越智京子に交代して審議

東日本区理事清水弘一が議案書により説明合わせて「【2010年横浜国際大会】ご奉仕いただける方の募集（アンケート回答依頼）及び奉仕可能者リスト」への挙力依頼、行政監査報告を監事
浅見隆夫が議案書により説明

質疑なし 賛成挙手多数で可決

第3号議案 2008～2009年度 東日本区会計中間決算報告及び会計監査報告を承認する件

提 案 者 東日本区理事 清水 弘一

議長の清水弘一提案のため議長を直前理事越智京子に交代して審議

東日本区理事清水弘一から議案書により説明、会計担当幹事藤井寛敏が体調不良のため監事浅見隆夫が中間決算監査を行った結果を議案書により説明

質疑なし 賛成挙手多数で可決

第4号議案 2009～2010年度理事、次期理事、次々期理事、監事指名の件

提案者 役員及び監事ならびに次々期理事候補者指名委員会委員長 越智京子
次々期理事候補者指名委員会委員長越智京子が議案書により説明

質疑なし 賛成挙手多数で可決

第5号議案 2009～2010年度 東日本区役員を承認する件

提案者 東日本区次期理事 原 俊彦

東日本区次期理事が議案書により説明

質疑なし 賛成挙手多数で可決

第6号議案 2009～2010年度 東日本区理事方針を承認する件

提案者 東日本区次期理事 原 俊彦

東日本区次期理事が議案書により説明

質疑なし 賛成挙手多数で可決

第7号議案 2009～2010年度 東日本区予算案を承認する件

提案者 東日本区次期理事 原 俊彦

東日本区次期理事が議案書により説明

東京武蔵野多摩クラブ林 誠会長から、東日本区費は負担になるので、ロースターの定款等の変化のないページ削減とか毎年発行しない等、実行段階で費用を下げるよう、要望があった。

その他の質疑なし 賛成挙手多数で可決

第8号議案 第14回東日本区大会ホストクラブ選定の件

提案者 東日本区理事 清水弘一

議長の清水弘一提案のため議長を直前理事越智京子に交代して審議

東日本区次期理事が議案書により説明

質疑なし 賛成挙手多数で可決

なお代議員会資料は開催日時 2011年6月5日(土)～6日(日)となっていましたが
2011年6月4日(土)～5日(日)に訂正します。

第9号議案 第12回東日本区大会、聖日礼拝献金の件

提案者 東日本区理事 清水弘一

議長の清水弘一提案のため議長を直前理事越智京子に交代して審議

東日本区次期理事が議案書により説明

質疑なし 賛成挙手多数で可決

8. 閉会挨拶・点鐘

東日本区理事 清水弘一

終了後、東日本区大会 バナーセレモニーについて大会実行委員会からの説明があった。

2008～2009年度 東日本区代議員名簿

部名 代議員 数	分類	役職	氏名	出 委 欠	部名 代議員 数	分類	役職	氏名	出 委 欠
北海道部 6名	部長	札幌	中田千鶴	出	あず さ部 14名	部長	東京武蔵野多摩	宮内友弥	出
	部選出	十勝クラブ	玉池俊隆	出		部選出	東京西	神谷幸男	出
	会長	札幌	阿部寛司	出		部選出	東京山手	飯島隆輔	委
	会長	北見	新本卓生	出		会長	甲府	山本敦夫	出
	会長	十勝	中村義春	出		会長	東京山手	尾内昌吉	出
	会長	札幌北	小谷和雄	出		会長	東京西	大野貞次	出
北東 部 12名	部長	仙台	横倉 純	出		会長	東京武蔵野多摩	林 誠	出
	部選出	宇都宮東	岡田孝司	出		会長	松本	滝澤美弘	委
	会長	仙台	三上雅敏	欠		会長	東京サンライズ	小山憲彦	出
	会長	前橋	白石昭夫	委		会長	甲府21	輿水正光	委
	会長	宇都宮	大久保知宏	出		会長	東京八王子	有海澈明	出
	会長	高崎	一宮和雄	出		会長	東京たんぼぼ Yサービス	河野伸子	出
	会長	仙台青葉城	菊地弘生	出		会長	富士五湖	宮下正男	委
	会長	足利	諏訪治男	出		会長	東京セントラル	石井一也	出
	会長	会津	高橋京子	出	湘南・ 沖縄部 11名	部長	横浜ノース	里吉時夫	出
	会長	宇都宮東	山口俊一	出		部選出	横浜とつか	浦出昭吉	出
	会長	那須	鈴木保江			会長	横浜	伊藤誠彦	出
	会長	もりおか	大関靖二	出		会長	沖縄那覇	呉屋良文	出
部長	東京グリーン	佐野 守	出	会長		横浜ノース	加藤進康	委	
部選出	千葉	青木清子	出	会長		鎌倉	池田光司	出	
会長	東京江東	山崎常久	委	会長		横浜とつか	若木一美	委	
会長	千葉	大場正幸	出	会長		沖縄しいさあー	後藤 聡		
会長	東京グリーン	浅見クミ子	出	会長		厚木	佐藤節子	出	
会長	柏	染谷正夫	出	会長		金沢八景	増沢 迪	出	
会長	埼玉	衣笠輝夫	委	会長		横浜つづきワイズメ ン&ウイメンズ	今城高之	委	
関東 東部 12名	会長	東京北	井口保雄	出	富士 山部 14名	部長	伊東	田邊寛司	出
	会長	所沢	林 秀雄	出		部選出	沼津	長谷川 等	出
	会長	東京ひがし	飯田歳樹	出		部選出	熱海	西島智仁	出
	会長	川越	利根川恵子	委		会長	熱海	詫間 勲	出
	会長	茨城	小嶋正美	委		会長	沼津	平野正文	委
	部長	東京南	堀井 堯	出		会長	湯河原	北村文雄	出
	部選出	東京	田中博之	出		会長	伊東	向井信男	出
	会長	東京	長澤山泰	出		会長	三島	芹澤和子	欠
	会長	東京むかで	森本晴生	出		会長	下田	竹内一磨	出
	会長	東京世田谷	張替滋夫	委		会長	熱海グローリー	藤間孝夫	出
	会長	東京目黒	福島 正	出		会長	御殿場	井田伸太郎	出
	会長	東京南	中村周三	出		会長	富士	高野 亨	出
会長	東京まちだ	小山正直	出	会長		富士宮	吉川雄二	委	
会長	東京コスモス	権藤徳彦	出	会長		静岡	永田玄道	出	
会長	東京センテナ アルYサービス	大中 誠		代議員総数	81名				
会長	信越妙高	岸本茂徳	出	出席数	61名				
会長	東京銀座	千葉 領	出	委任状	15名				
				(オブザーバー : 37名)					

2007～2008 年度・東日本区会計決算

単位：円
2008年6月30日

収入の部

(会員数)	1,100	1,111	
科 目	07-08 予算	07-08 実算	差
東日本区費	15,983,000	16,200,400	217,400
ロースター・名簿代	2,000,000	1,980,000	-20,000
入 会 金	600,000	342,000	-258,000
物 品 売 上		76,500	76,500
加 盟 金	20,000	0	-20,000
ワイズメンズワールド補助金	90,000	114,965	24,965
雑 収 入		104,723	104,723
前年度繰越金	244,953	244,953	0
合 計	18,937,953	19,063,541	125,588

支出の部

科 目	07-08 予算	07-08 実算	差
国際会費	3,850,000	3,930,605	-80,605
アジア会費	528,000	618,441	-90,441
アジア地域緊急災害支援金	132,000	129,987	2,013
加 盟 金	20,000	0	20,000
東日本大会負担金	550,000	555,500	-5,500
東日本区・事務所費	3,480,000	3,456,000	24,000
会 議 費	130,000	75,588	54,412
旅 費 ・ 交 通 費	1,800,000	2,018,520	-218,520
区 ・ 事 業 費	1,280,000	1,455,832	-175,832
部 ・ 事 業 費	1,030,000	1,033,300	-3,300
事務通信費	600,000	501,362	98,638
宣伝印刷費	1,750,000	1,237,954	512,046
ロースター・名簿代	1,800,000	1,944,678	-144,678
事務用品費	120,000	93,859	73,101
物 品 費	400,000	387,690	12,310
拡張奨励費	200,000	0	200,000
雑 費	20,000	32,994	-12,994
理 事 費	160,000	160,000	0
書記・会計費	80,000	80,000	0
事業主任費	160,000	160,000	0
部長 費	280,000	280,000	0
委員長 費	160,000	160,000	0
監 事 費	40,000	40,000	0
事務局 費	50,000	20,000	30,000
予 備 費	73,000		73,000
次期繰越金	244,953	691,231	-475,278
合 計	18,937,953	19,063,541	125,588

2007～2008年度・東日本区会計貸借対照表

(2008年6月30日現在)

資産の部		負債及び資本の部	
現金	382,434	東日本区ワイズ基金	28,958,838
郵便振替口座	3,515,396	各種献金残高	4,838,978
普通預金	7,091,217		
定期預金	23,000,000		
仮払金	500,000	次期繰越金	691,231
計	34,489,047	計	34,489,047

東日本区会計・現金預貯金明細表

(2008年6月30日現在)

《現金》		382,434
《郵便振替口座》		3,515,396
口座名	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区	
口座番号	00110-0-362981	
《普通預金》		324,630
口座名	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区事務所	
口座番号	東京東信用金庫・四谷支店	
《普通預金》		6,766,587
口座名	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区事務所	
口座番号	065-1930936 みずほ銀行・四谷支店	
《定期預金》		13,000,000
口座名	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区事務所	
口座番号	095-0241880 三菱東京UFJ銀行・高田馬場支店	
《定期預金》		10,000,000
口座名	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区事務所	
口座番号	065-6360348 みずほ銀行・四谷支店	
《ドル預金》		0
口座名	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区事務所	
口座番号	065-9102897 みずほ銀行・四谷支店	
《仮払金》		500,000
齊藤工芸		

2007～2008年度・東日本区会計・決算内訳

(2008年6月30日現在)

T O F

収入の部		支出の部	
当期入金	1,410,380	当期国際送金	1,410,380
前期繰越	0		0
計	1,410,380	計	1,410,380

C S ・ A S F

収入の部		支出の部	
C S ・ 現金	1,371,324	Y M C A 同盟活動支援金	1,000,000
C S ・ お年玉切手売上	52,000	ワイワイYフォーラム	54,000
A S F ・ 現金	83,000	担当主事会補助	115,000
		A S F 国際送金	200,000
		同盟支援・アジア太平洋会議	50,000
前期繰越	910,632	残高	997,956
計	2,416,956	計	2,416,956

B F

収入の部		支出の部	
当期献金入金	2,211,430	当期国際送金	2,253,835
使用済み切手	59,496		
前期繰越	86,580	残高	103,671
計	2,357,506	計	2,357,506

E F

収入の部		支出の部	
当期入金	455,000	当期国際送金	520,000
前期繰越	105,000	残高	40,000
計	560,000	計	560,000

J E F

収入の部		支出の部	
当期入金	1,423,000	PR用タペストリー作成	39,480
		東日本区20年の歩み	575,595
		2010年国際大会	2,500,000
前期繰越	30,650,913	残高	28,958,838
計	32,073,913	計	32,073,913

コース活動費(ロースター広告費)

収入の部		支出の部	
当期広告費入金	1,040,000	バンコクコースコンボケーション	
今期特別献金	141,519	諸費用(研修交通費含む)	148,405
		上記報告書印刷代	50,000
		来日STEP補助(2名)	180,000
		派遣STEP補助	50,000
		ワイワイYフォーラム補助	71,000
		東日本区大会コースの集い補助	76,000
		デンマークコースコンボ補助	537,074
		雑費(送金手数料ほか)	3,360
前期繰越	826,500	残高	892,180
計	2,008,019	計	2,008,019

ユースボランティア・リーダーズフォーラム

収入の部		支出の部	
各クラブ負担金	1,260,000	第 20 回経費	1,508,773
第 20 回リーダー参加費	159,000		
前期繰越金	2,181,992	残高(第 21 回費用)	2,092,219
計	3,600,992	計	3,600,992

災害募金

収入の部		支出の部	
中越沖地震	833,278	同盟に送金	1,170,726
バン格拉デッシュサイクロン	337,448		
		残高	0
計	1,170,726	計	1,170,726

UGP募金

収入の部		支出の部	
バッジ等売上及び献金	544,770	物品購入(本、ピン)	95,000
ファミリーファスト入金	193,330	横浜フォーラム支援金	350,000
		部主催イベント補助	200,000
		送金手数料等	1,680
前期繰越金	196,991	残高	289,411
計	935,091	計	936,091

メネット委員会

収入の部		支出の部	
メネット特別ファンド	363,884	絵本贈る運動(本代・送料)	350,000
今期国内プロジェクト	409,657	国際送金	198,000
今期国際プロジェクト	159,800		
今期ID支援	38,200		
		残高	423,541
計	971,541	計	971,541

各種献金残高

TOF	0
CS / ASF	997,956
BF	103,671
EF	40,000
ユース活動費	892,180
リーダーズフォーラム	2,092,219
災害募金	0
メネット	423,541
UGP	289,411
合計	4,838,978

ワイズメンズクラブ国際協会

2007～2008 年度・東日本区理事

越智 京子殿

2007～2008 年度、東日本区会計決算監査報告

2007～2008 年度・東日本区会計の決算を監査した結果、適正であることを確認しましたので、ここに報告いたします。

以上。

2008年10月25日

東日本区監事

 印

2008 - 2009 東日本区行政監査報告

東日本区監事 浅見隆夫（東京グリーンクラブ）

本年度は東日本区としての通常プログラムに清水弘一理事の熱き思いを込め「2000 プロジェクト」が、漆畑義彦 2000P 委員長のもと久保田康正会員増強事業主任が推進する「知人・友人同伴キャンペーン」と協働して活発に活動が開始されました。

初動こそ各部の取り組み、理解度に温度差を感じましたが「チャレンジ 2000 決起大会」を境に活動が一気に加速し、各部の熱気が伝わってきました。「銀座クラブ」が設置第 1 号となり、各部に新クラブ設立の胎動が感じられましたことは大変嬉しい事であります。念願で有った会員増強が進み、来期に向かっても大いに希望が持てる展開になってきました。

山田敏明地域事業主任は「省エネ読本」「省エネ実践チェック表」を全会員に配布し「環境キックオフキャンペーン」を展開、環境に対する意識を高める取り組みを成功させました。

辻剛国際・交流事業主任は UGP の「第 15 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜」(組織委員会主催)、東新部会・STOP! HIV/AIDS 後援会(ホスト東京南クラブ) 第 1 回「エイズ・フォーラム」(北海道部主催) 第 2 回「エイズ文化フォーラム in 山梨」(甲府クラブ主催)や ROLL BACK MARIJUANA キャンペーンを展開し成果をあげ IBC/DBC 活動の活性化を強力に進められました。

篠田秀樹ユース事業主任は「ユース NEWS」、ユース「メルマガ」を発行・配信し会員のユース事業への理解度を深めました。車椅子獲得プルリング収集を展開し、施設に 2 台も寄贈する事が出来ました。

紙面の都合で詳細な報告が出来ないのが残念ですが、各部長も大きな成果を上げる活動を展開して頂けました。

藤井寛敏君が次々期国際会長(2010~2011)に当選。高田一彦君が次期国際議員(2009~2011)並びに次々期アジアエリア会長(2010~2011)に当選されました事は 2010 年横浜国際大会をホストする東日本区としては最大の慶事であり、日本でのワイズ活動が世界に紹介され、国際ワイズ活動の起爆剤になれば素晴らしいこととあります。横浜国際大会まで 1 年有余となりましたが、不安要素の世界不況の中、田中博之事務局長を中心に各実動委員会が活発に議論を重ね、西日本区のご協力を得て成功裏に開催される事に確信を持っております。

皆様のご協力で本当に素晴らしい活動を展開し、躍進した 1 年であったと監事報告が出来る幸せを感じております。有難う御座いました。

2009 年 5 月 25 日

署名

浅見隆夫



2008～2009年度・東日本区会計中間決算

単位：円
2009年3月31日

収入の部
(前提会員数)

科 目	08-09 予算	08-09 実算	差異
東日本区費	16,568,000	16,076,200	491,800
ロースター・名簿代	2,320,000	1,983,000	337,000
入会金	1,800,000	528,000	1,272,000
物品売上	130,000	34,000	96,000
加盟金	30,000	0	30,000
ワイズメンズワールド補助金	100,000	0	100,000
雑収入	30,000	69,073	-39,073
前年度繰越金	691,231	691,231	0
合 計	21,669,231	19,381,504	2,287,727

支出の部

科 目	08-09 予算	08-09 実算	差異
国際会費	4,025,000	1,703,811	2,321,189
アジア会費	552,000	213,762	338,238
アジア地域緊急災害支援 金	138,000	106,880	31,120
加盟金	30,000	0	30,000
東日本大会負担金	575,000	553,500	21,500
東日本区・事務所費	3,456,000	2,592,000	864,000
会議費	120,000	89,016	30,984
旅費・交通費	2,500,000	2,200,180	299,820
区・事業費	1,500,000	933,740	566,260
部・事業費	1,090,000	849,600	240,400
事務通信費	530,000	377,848	152,152
宣伝印刷費	1,830,000	1,024,768	805,232
ロースター・名簿代	2,080,000	2,053,338	26,662
事務用品費	130,000	21,593	108,407
物品費	640,000	308,620	331,380
拡張奨励費	300,000	0	300,000
雑費	30,000	11,910	18,090
理事費	160,000	160,000	0
書記・会計費	80,000	80,000	0
事業主任費	160,000	160,000	0
部長費	280,000	280,000	0
委員長費	160,000	160,000	0
監事費	40,000	40,000	0
事務局費	20,000	20,000	0
予備費	1,243,231	0	1,243,231
後期繰越金		5,440,938	-5,440,938
合 計	21,669,231	19,381,504	2,287,727

東日本区会計貸借対照表

(2009年3月31日現在)

資産の部		負債及び資本の部	
現金	321,424	東日本区ワイズ基金	27,291,288
郵便振替口座	7,339,128	各種献金残高	8,741,709
普通預金	452,530		
普通預金	9,660,853		
定期預金	23,000,000		
ドル預金	0		
仮払金	700,000	後期繰越金	5,440,938
計	41,473,935	計	41,473,935

東日本区会計・現金預貯金明細表

(2009年3月31日現在)

《現金》		321,424
《郵便振替口座》		7,339,128
口座名	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区	
口座番号	00110-0-362981	
《普通預金》		452,530
口座名	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区事務所	
口座番号	東京東信用金庫・四谷支店	
《普通預金》		9,660,853
口座名	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区事務所	
口座番号	065-1930936 みずほ銀行・四谷支店	
《定期預金》		13,000,000
口座名	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区事務所	
口座番号	095-0241880 三菱東京UFJ銀行・高田馬場支店	
《定期預金》		10,000,000
口座名	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区事務所	
口座番号	065-6360348 みずほ銀行・四谷支店	
《ドル預金》		0
口座名	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区事務所	
口座番号	065-9102897 みずほ銀行・四谷支店	
《仮払金》		
齊藤工芸		500,000
メネット委員会		200,000

東日本区会計・決算内訳

(2009年3月31日現在)

TOF

収入の部		支出の部	
当期入金	1,096,537	当期国際送金	0
前期繰越	0	残高	1,096,537
計	1,096,537	計	1,096,537

CS・ASF

収入の部		支出の部	
CS・現金	1,015,610	Y M C A 同盟活動支援金	1,000,000
CS・お年玉切手売上	3,120	環境キャンペーン諸費用	131,100
ASF・現金	109,190	ステップ 補助金	200,000
		送金手数料	840
前期繰越	997,956	残高	793,936
計	2,125,876	計	2,125,876

BF

収入の部		支出の部	
当期献金入金	1,554,299	当期国際送金	0
使用済み切手			
前期繰越	103,671	残高	1,657,970
計	1,657,970	計	1,657,970

EF

収入の部		支出の部	
当期入金	11,000	当期国際送金	
前期繰越	40,000	残高	51,000
計	51,000	計	51,000

JEF

収入の部		支出の部	
当期入金	628,000	2000 プロジェクトへ	1,500,000
ワイズ読本売上	329,000	ワイズ読本印刷費	1,124,550
前期繰越	28,958,838	残高	27,291,288
計	29,915,838	計	29,915,838

ユース活動費(ロースター広告費)

収入の部		支出の部	
当期広告費入金	1,030,000	デンマークユースコンボ	
今期特別献金		追加補助	107,120
		上記報告書印刷代	44,310
前期繰越	892,180	残高	1,770,750
計	1,922,180	計	1,922,180

ユースボランティア・リーダーズフォーラム

収入の部		支出の部	
各クラブ負担金	1,260,000	第 21 回経費合計	1,195,708
第 21 回リーダー参加費	114,000	報告書印刷代	55,650
		委員会交通費	21,000
前期繰越金	2,092,219	残高(第 22 回費用)	2,193,861
計	3,466,219	計	3,466,219

災害募金

収入の部		支出の部	
パレスチナガザ支援	124,000		
マラリア蚊帳支援	245,560		
		残高	369,560
計	369,560	計	369,560

UGP募金

収入の部		支出の部	
ハッジ等売上及び献金	239,803	横浜フォーラム支援金	250,000
ファミリーファスト入金	114,300	部主催イベント補助	200,000
		送金手数料等	1,260
前期繰越金	289,411	残高	192,254
計	643,514	計	643,514

メネット委員会

収入の部		支出の部	
メネット特別ファンド	363,884	絵本贈る運動(本代・送料)	400,000
今期国内プロジェクト	381,000		
今期国際プロジェクト	164,300		
今期ID支援	47,000		
前期繰越金	59,657	残高	615,841
計	1,015,841	計	1,015,841

各種献金残高

TOF	1,096,537
CS / ASF	793,936
BF	1,657,970
EF	51,000
ユース活動費	1,770,750
リーダーズフォーラム	2,193,861
災害募金	369,560
メネット	615,841
UGP	192,254
合計	8,741,709




ワイズメンズクラブ国際協会
2008 - 2009 年度・東日本区
清水 弘一殿

2008～2009 年度、東日本区会計中間決算監査報告

2008～2009 年度・東日本区会計の中間決算を監査した結果、適正であることを確認しましたので、ここに報告いたします。

以上

2009 年 5 月 27 日
東日本区監事 浅見隆夫 

2008～2009 年度

東日本区表彰一覧

理事表彰

1. 東日本区奈良傳賞 奥峪 力様（東京ひがしクラブ）1927年11月22日生 81歳
 1955年 東京ワイズメンズクラブ入会、ワイズ歴54年、その間東京江東クラブ、東京ひがしクラブの設立に尽力、それぞれのクラブにおいて監事などの要の役割に徹し、常に前面には出ず、経済的、精神的にクラブを支えてきた。
 YMCAにおいては1952年、東京YMCAに入会以来、江東ランチ委員、ランチ委員長、東京YMCA学校法人理事、東京YMCA常議員などの要職を歴任、2006年には東京YMCA名誉会員に推挙された。
- 藤井銀次郎様（熱海グロリークラブ）1927年9月2日生 81歳
 1968年 熱海ワイズメンズクラブ入会、ワイズ歴41年、1974年、熱海クラブ会長の時に湯河原クラブを設立。1975年、熱海国際大会においては地元クラブ直前会長として大会の成功に尽力。1978年、日本区YMCAサービス事業主任、1979年、竹内理事のもとで日本区副書記を務める。1984年、熱海グロリーワイズメンズクラブ設立準備委員長として、エクステンションに尽力し、チャーターメンバーとして移籍。1985年、富士山部部长
 熱海YMCA設立当初より今日まで理事等役員として協力、熱海YMCAの発展に努めてきた。
2. 最優秀クラブ賞 十勝クラブ
 クラブ設立以来、ワイズポテト事業を推進しYMCAに対する貢献が大である。今年度、MCに力を入れ、5名の新入会員を獲得し、グッドスタンディングクラブと出席率100%を達成した。すべてのファンド事業に参加するとともに第12回東日本区大会を見事にホストした。
3. 優秀クラブ賞 東京クラブ
 今年度すべての事業を積極的に推進し、特に、ワイズワイン頒布による収益金やフロストバレーへの支援30周年等YMCAに対する貢献大である。
- 東京西クラブ
 毎月開催するWHO（ウオーキング・ホリデー・オギクボ）や堀内メンが中心となって進めているウエルネス活動は、長年地域を巻き込みワイズの認知度を高めた功績は大である。
- 熱海クラブ
 MCを積極的に推進し、今年度新入会員7名を獲得した。また今年度も出席率100%を達成し、年賀切手の収集貢献は絶大である。
4. 理事特別クラブ賞 東京南クラブ
 多数の病休会員を有し、厳しいクラブ運営の中で、東京銀座クラブ、東京白金高輪クラブの2クラブのチャーターを実現させた。
- 甲府クラブ
 新クラブの設立に向けて果敢に挑戦し、その行動は区全体の範ともなり、会員増強、環境キャンペーンにも顕著な功績を残した。
5. ブリテン賞 最優秀賞：東京江東 優秀賞：東京八王子 努力賞：札幌 もりおか

地域奉仕事業表彰

1. CS

(1) CS 活動特別賞

伊東クラブ 市内の小学生を対象にした 11 月のワイズ杯ドッジボール大会、2 月にはスキー教室を主催し、地域にワイズのプログラム広め認知度を高めた。またスキー教室の様子が地元 TV に放映されワイズ、YMCA の PR にも貢献した。

東京むかでクラブ 1983 年より続いている障がい者とともに楽しむユニークダンスパーティの第 50 回目にあたる記念パーティを見事に開催した。長年に亘る普及活動に努め、今日の発展を築いた功績は高く評価される。

(2) 年賀切手貢献 (50 枚以上)

中島寛勝 (熱海 2028 枚) 安田克己 (熱海 193 枚) 牛田俊夫 (伊東 118 枚)
高杉治興 (横浜 114 枚) 堀崎龍夫 (伊東 113 枚) 久保田康正 (伊東 110 枚)
持田二郎 (東京 105 枚) 山田 誠 (伊東 73 枚) 田邊寛司 (伊東 55 枚)

(3) 一人あたり献金貢献賞 5 位まで

1 位: 十勝(6,292 円) 2 位: 東京(3,121 円) 3 位: 東京まちだ(2,995 円)
4 位: 熱海(2,727 円) 5 位: 東京世田谷(2,500 円)

2. YMCA サービス

(1) YMCA サービス特別賞 チャリティーラン新規

富士山部 熱海 YMCA 主催の初めてのチャリティーランが 5 月に静岡市で開催された。

富士山部全 11 クラブが後援し、成功裡に開催されたことは、YMCA への貢献が高く評価される。

3. 環境キャンペーン賞

環境キャンペーン	最優秀賞	仙台青葉城	20.40%
	優秀賞	東京まちだ	17.40%
	優秀賞	東京江東	17.20%
参加率優秀賞	三島クラブ	95.50% (21/22)	
参加率 部優秀賞	あずさ部	100% (11/11)	

4. ASF 献金貢献賞

1 位: 十勝 (50,000 円) 2 位: 伊東 (40,000 円) 3 位: 宇都宮 (16,500 円)

会員増強事業表彰

1. EMC - M (新入会員獲得) (2008 年 5 月 1 日 ~ 2009 年 4 月 30 日)

最優秀賞	金沢八景 (11 名)		
優秀賞 (3 名以上入会)	熱海 (7 名)	札幌 (5 名)	東京 (5 名)
	東京センテニアル (5 名)	御殿場 (5 名)	東京グリーン (5 名)
	十勝 (5 名)	宇都宮 (4 名)	甲府 (4 名)
努力賞 (2 名入会)	伊東 (4 名)	沖縄那覇 (3 名)	厚木 (3 名)
	仙台青葉城	東京江東	東京ひがし
	東京世田谷	東京南	東京コスモス
	八王子	東京山手	鎌倉
	横浜とつか	沼津	三島
	富士	富士宮	静岡

2. EMC - C (出席率) (会員数 15 名以上のクラブ) (2008 年 5 月 1 日 ~ 2009 年 4 月 30 日)

最優秀賞 (100%)	熱海		
優秀賞 (90%以上)	東京ひがし (98%)	横浜つづき (96%)	伊東 (95%)
	下田 (95%)	東京 (93%)	東京武蔵野多摩 (91%)
	東京むかで (90%)	東京西 (90%)	

3. EMC - C (退会者ゼロ) (2008 年 5 月 1 日 ~ 2009 年 4 月 30 日)

ノンドロップ賞	札幌	北見	十勝
	仙台	前橋	高崎
	仙台青葉城	宇都宮東	柏
	埼玉	東京北	川越
	茨城	目黒	東京西
	東京サンライズ	富士五湖	鎌倉
	沖縄しーさあー	湯河原	熱海グローリー
	富士宮	静岡	

4. EMC - E 新クラブ設立賞

東京南	東京世田谷	東京むかで	東京目黒
-----	-------	-------	------

5. 知人・友人同伴キャンペーン PR

最優秀クラブ賞	金沢八景	134	ポイント	
優秀クラブ賞	東京八王子	96	ポイント	
	東京西	64	ポイント	
最優秀個人賞	阿蘇 淳	60	ポイント	(金沢八景)
優秀個人賞	中塚辰生	57	ポイント	(東京八王子)
	峯尾 舜	51	ポイント	(金沢八景)
	越智京子	42	ポイント	(東京たんぽぽ)
	吉田明弘	40	ポイント	(東京西)

6. グッドスタンディング達成賞 十勝 御殿場

7. 国際ブースター賞(個人)3名以上入会

阿蘇 淳(金沢八景)	木村 朗(御殿場)	中田千鶴(札幌)
持田二郎(東京)	久保田康正(伊東)	西村隆夫(東京センテニアル)
浅見クミ子(東京グリーン)	山田敏明(十勝)	呉屋良文(沖縄那覇)

8. 国際ブースター賞(クラブ)

金沢八景	厚木
------	----

国際交流表彰

1. BF

(1) 一人あたり献金貢献賞

1位: 伊東(6,169円)	2位: 東京(3,569円)	3位: 札幌(3,000円)
----------------	----------------	----------------

(2) 切手収集優秀賞

1位: 仙台(11kg)	1位: 東京むかで(11kg)	1位: 伊東(11kg)
2位: 横浜(6.07kg)	3位: 東京(5.53kg)	

2. TOF

(1) 一人あたり献金貢献賞

1位: 東京(3,200円)	2位: 十勝(2,017円)	3位: 伊東(2,000円)
4位: 札幌(1,950円)	5位: 東京まちだ(1,862円)	

(2) ファミリーファスト協力賞

東京江東(19,000円)	東京たんぽぽ(18,000円)	三島(12,000円)
甲府21(11,000円)	十勝(10,000円)	東京世田谷(10,000円)
東京サンライズ(10,000円)	富士(10,000円)	東京西(9,500円)
東京八王子(7,800円)	横浜つづき(7,500円)	仙台青葉城(5,500円)
東京ひがし(5,000円)	東京(5,000円)	東京目黒(4,000円)

3. IBC・DBC

(1) IBC 締結賞	横浜つづき	熱海グローリー	東京八王子
-------------	-------	---------	-------

(2) IBC 交流賞	東京世田谷	東京江東	宇都宮
	横浜	東京ひがし	横浜ノース
	東京	伊東	

(3) DBC 締結賞	東京山手	東京サンライズ	東京西
-------------	------	---------	-----

(4) DBC 交流賞	十勝	仙台青葉城	東京江東
	東京北	柏	東京ひがし

4. UGP 貢献賞

(1) 優秀賞	北海道部	甲府	湘南・沖縄部
---------	------	----	--------

(2) 努力賞	東新部	千葉	東京目黒
	東京サンライズ甲府21		横浜つづき
	十勝	札幌北	東京たんぽぽ
	甲府		

ユース事業表彰

1. YIA 推進賞(国際ユースコンポジションへのユース派遣クラブ)
 千葉 東京たんぼぼ 東京セントラル
 横浜つづき 沼津 東京
 東京南
2. プルリング収集優秀賞 (10kg 以上抛出クラブ)
 1 位: 東京グリーン (101.61kg) 2 位: 東京サンライズ (70.00kg) 3 位: 甲府 (32.1kg)
 4 位: 東京 (22.06kg) 5 位: 東京八王子 (19.25kg)
3. ユース支援、ロースター広告協力賞:
 札幌 十勝 札幌北 仙台 宇都宮
 仙台青葉城 足利 宇都宮東 那須 東京江東
 千葉 東京グリーン 東京北 所沢 東京ひがし
 川越 茨城 東京 東京むかで 東京世田谷
 東京目黒 東京南 東京まちだ 東京コスモス 東京センテニアル
 甲府 東京山手 東京西 東京武蔵野多摩 松本
 東京サンライズ 甲府 2 1 東京八王子 東京たんぼぼ 富士五湖
 東京セントラル 横浜 鎌倉 横浜とつか 厚木
 熱海 沼津 湯河原 伊東 三島
 熱海グローリー 富士 富士宮 静岡 (49 クラブ)

メネット表彰

最優秀メネット会賞 宇都宮クラブメネット会

達成賞

CS(一人あたり目標額・1,250 円)

札幌	十勝	仙台	宇都宮	高崎
仙台青葉城	会津	宇都宮東	東京江東	千葉
東京グリーン	柏	埼玉	東京北	東京ひがし
東京	東京世田谷	東京目黒	東京江東	東京まちだ
東京コスモス	東京センテニアル	甲府	東京山手	東京西
松本	東京サンライズ	甲府 2 1	東京八王子	東京たんぼぼ
富士五湖	東京セントラル	横浜	十勝	厚木
横浜つづき	熱海	沼津	湯河原	伊東
三島	下田	熱海グローリー	富士宮	静岡 (45 クラブ)

BF(一人あたり目標額・2,000 円)

札幌	十勝	宇都宮	仙台青葉城	宇都宮東
東京江東	千葉	東京グリーン	柏	埼玉
東京北	東京	東京むかで	東京世田谷	東京目黒
東京南	東京まちだ	東京コスモス	甲府	東京山手
東京西	松本	東京サンライズ	甲府 2 1	東京八王子
東京たんぼぼ	富士五湖	東京セントラル	横浜	鎌倉
横浜とつか	厚木	横浜つづき	熱海	沼津
湯河原	伊東	三島	下田	熱海グローリー
富士宮	静岡	(42 クラブ)		

TOF(一人あたり目標額・1,300 円)

札幌	十勝	札幌北	仙台	前橋
宇都宮	仙台青葉城	宇都宮東	東京江東	千葉
東京グリーン	柏	埼玉	東京北	東京ひがし
東京	東京むかで	東京世田谷	東京目黒	東京南
東京まちだ	東京コスモス	甲府	東京山手	東京西
松本	東京サンライズ	甲府 2 1	東京八王子	東京たんぼぼ
富士五湖	鎌倉	厚木	横浜つづき	熱海
沼津	湯河原	伊東	三島	下田
熱海グローリー	富士宮	静岡	(43 クラブ)	

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 2009 - 2010 年度前期 現勢

2009/7/1

部名	クラブ名	2007 7・1	2008 1・1	2008 7・1	2009 1・1	2009 7・1	直近 増減	部名	クラブ名	2007 7・1	2008 1・1	2008 7・1	2009 1・1	2009 7・1	直近 増減
北海道部	札幌	8	9	8	12	12	0	あまの部	*甲府	40	42	46	46	44	-2
	北見	12	12	13	13	13	0		東京山手	23	22	20	21	20	-1
	十勝	12	12	12	14	17	3		東京西	19	19	19	19	17	-2
	札幌北	14	14	14	13	13	0		東京武蔵野多摩	17	17	17	17	16	-1
合計	4	46	47	47	52	55	3		*松本	15	16	14	14	13	-1
北東部	仙台	21	21	23	24	24	0		東京サンライズ	20	20	20	20	24	4
	前橋	9	9	9	9	9	0		甲府21	26	24	22	22	21	-1
	宇都宮	32	32	33	36	37	1		東京八王子	22	22	22	23	24	1
	*高崎	7	7	7	7	5	-2		東京たんぼぼ	16	16	16	14	14	0
	仙台青葉城	14	14	15	16	15	-1		*富士五湖	16	15	15	15	15	0
	足利	8	8	8	8	8	0		東京セントラル	14	13	12	12	11	-1
	*会津	6	6	6	6	5	-1	合計	11	228	226	223	223	223	-4
	宇都宮東	8	9	10	10	9	-1	湘南沖縄部	横浜	19	19	17	16	16	0
	那須	8	7	5	5	5	0		*沖縄那覇	8	8	6	9	9	0
	もりおか	21	21	19	18	18	0		横浜ノース	13	13	11	11	11	0
合計	10	134	134	135	139	135	-4		鎌倉	6	5	7	7	7	0
関東東部	東京江東	29	29	29	29	29	0		横浜とつか	11	11	10	9	10	1
	千葉	17	16	16	15	16	1		*沖縄しいーさぁー	7	7	7	7	5	-2
	東京グリーン	23	23	26	26	25	-1		厚木	11	11	15	17	18	1
	柏	13	13	13	13	11	-2	金沢八景	16	15	20	28	28	0	
	埼玉	11	11	11	11	11	0	横浜つづき	18	19	19	19	18	-1	
	東京北	14	14	14	14	13	-1	合計	9	109	108	112	123	122	-1
	所沢	13	12	12	12	12	0	富士山部	*熱海	44	44	44	45	48	3
	東京ひがし	20	20	20	19	19	0		*沼津	20	21	20	19	21	2
	*船橋	4	5	-	-	-	-		*湯河原	11	11	11	11	11	0
	川越	10	10	10	10	10	0		*伊東	36	36	39	40	39	-1
茨城	18	16	14	14	14	0	*三島		21	22	22	24	18	-6	
合計	10	172	169	165	163	160	-3		*下田	18	19	16	16	15	-1
東新部	東京	35	35	37	38	37	-1		*熱海グローリー	34	33	33	33	32	-1
	東京むかで	18	18	17	18	17	-1		御殿場	11	13	14	16	18	2
	東京世田谷	11	12	10	12	10	-2		*富士	33	35	36	38	35	-3
	東京目黒	8	8	8	8	8	0		*富士宮	21	21	22	24	23	-1
	東京南	16	16	15	15	0	-15	*静岡	13	17	18	19	16	-3	
	東京まちだ	13	13	12	11	9	-2	合計	11	262	272	275	285	276	-9
	東京コスモス	11	12	11	12	13	1	東日本区合計	2007 7・1	2008 1・1	2008 7・1	2009 1・1	2009 7・1	直近 増減	
	東京センテナリアル	30	31	32	35	30	-5		総クラブ数	65	65	64	64	65	0
	信越妙高	18	19	8	7	7	0		総会員数	1,111	1,120	1,107	1,141	1,141	0
	東京銀座				27	27			* 印のクラブは、担当主事がいないか、または在籍していても複数クラブの担当のため、当該クラブの人数には含めていません。						
東京白金高輪				16	16		合計	10	158	160	164	150	174	18	

こんなに沢山の贈りました絵本へのお礼と子供さんの絵を頂きました

沢山あって、ここに載せきれません

東かながわ
保育園



YMCA
マナ保育園



東日本区メネット委員会一同 様

先日「ワイズメソッドクラブ」(国際協力)東日本区メネット委員会「子どもたちに絵本を贈りたい」プロジェクトの絵本を頂きましてありがとうございます。
早速子どもたちに絵本を読ませたりクラスで絵本貸し出しコーナーにて貸し出しを始め、楽しんでます。如見組からの手紙や写真を同封致します。ぜひご覧ください。

YMCAマナ保育園



とつか
保育園

東日本区メネット委員会の皆様へ
この度は、絵本を贈って頂きましてありがとうございました。礼拝の時間の中で、子どもたちに紹介し各クラスで読む時間をもつていただき感謝の気持ちを込めまして、手紙と写真を送らせて頂きます。今後とも宜しくお願い致します。
とつか保育園 佐藤 智恵
2009年6月5日



山梨 Y
幼稚園



Y's メソッドクラブの皆様

毎年 保育園にたくさん絵本のプレゼントをいただきありがとうございます。子どもたちは絵本が大好きです。お気に入りの本は何回もくり返し見せたりボロボロになりまた同じ絵本を購入する というくり返しです。大切に読んでいます。(YMCA山梨市保育園 あり)

メソッドクラブ国際協会
東日本区メネット委員会の皆さま
このたびはたくさん絵本をY'sメソッドクラブ保育園に寄贈して頂き、ありがとうございます。子どもたちは本当に絵本が大好きです。大好きな本は何度も繰り返し読んでいます。Y'sメソッドクラブ保育園
子どもたちの思いの場所です。時間があるとお友達と一緒に楽しんでいます。ありがとうございます。

この度は、メネットの皆様より、子ども達に素敵な絵本のプレゼントいただきありがとうございました。
子ども達も、ほんとうに絵本が大好きです。きっとこの度のプレゼントも大喜びで楽しんでくれると思います。

この度は大変ステキな絵本を寄贈頂きありがとうございます。宇都宮市東部の山梨市に、子ども達から大人まで自由に読めるスペースに思いませんか? 今後ともよろしくお願いいたします。
山梨市東部 山梨市立保育園
TEL:044-520-1825

メネット委員会
委員長 松本 倫子 様
平素よりYMCA運動推進のためにご尽力いただき感謝申し上げます。また、この度は北海道YMCAに絵本を頂きまことに有難うございます。
札幌YMCA幼稚園では5/21に札幌北クラブメネット義村 小夜子氏より贈呈式がありました。

メネットの皆様から沢山の絵本の贈り物が届きました。とても嬉しく申しあげます。くろみ子も楽しみに読んでいます。あつたあつたに感謝です。あつたあつたに感謝です。
メネット 田坂 真穂子



東陽町
保育園



とかち Y
幼稚園

2009年6月5日
メネット委員会
委員長 松本 倫子 様
平素よりYMCA運動推進のためにご尽力いただき感謝申し上げます。また、この度は北海道YMCAに絵本を頂きまことに有難うございます。
札幌YMCA幼稚園では5/21に札幌北クラブメネット義村 小夜子氏より贈呈式がありました。

平安
北海道YMCA
総主事 宮崎 善昭

千年の森では広い森を散策し、千年後に立派な森になるよう願って記念植樹を行いました。(参加者 32 名)



メネットアワー

6月13日11時より一年間の活動報告、会計報告に続き、次期の原淑子委員長へ聖書と共に引継ぎ次期メネット主査のご紹介をしました。その後横浜国際大会のメネットプログラムについてパワーポイントを使って説明し、お手玉用の小豆を配り協力をお願いしました。(出席者 80名)

最優秀メネット会賞

メネット活動をしているクラブが少ない中、

今年度は地道にメンに協力されているメネット会を選びました。

宇都宮クラブメネット会

- ・長年にわたる宇都宮 Y M C A のバザーのお手伝い
- ・マイホームきよはらの喫茶室担当
- ・若いメネットが増えメンの 2,000 プロジェクトに協力
- ・来年度は仙台青葉城クラブの夜まわりグループをサポートする予定



6月30日とちぎYMCAチャリティーラン支援の宇都宮クラブメネットが賞状を中心に記念写真

2008-2009 東日本区メネット会計報告

2009年7月7日

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
東日本区会計補助金	200,000	会議費	16,360
		交通費	56,300
		通信費	7,250
		事業費 1 (メネットの集い)	22,405
		事業費 2 (東日本区大会メネットアワー)	41,640
		雑費	3,409
		小計	147,364
		東日本区会計へ戻し	52,636
合計	200,000	合計	200,000

国内プロジェクト			
収入		支出	
前年度繰越金	59,657	本年度絵本代及び送料	408,000
本年度献金合計	381,000	次年度繰越金	32,657
合計	440,657	合計	440,657

東日本区メネットファンド	
前年度繰越金	363,884
支出	0
次年度繰越金	363,884

2008～2009年度・メネット献金一覧

2009/5/20 現在

部 名	クラブ名	国内プロジェクト	国際プロジェクト	IDS支援	合計
北海道部	札幌北	5,000	3,000	0	8,000
	札幌	3,000	1,500	500	5,000
	十勝	4,000	5,000	1,000	10,000
北東部	仙台	10,000	5,000	3,000	18,000
	宇都宮	5,000	10,000	3,000	18,000
	もりおか	3,500	1,000	1,500	6,000
	仙台青葉城	5,000	5,000	1,000	11,000
	高崎	3,000	1,000	1,000	5,000
	足利	1,000	1,000	0	2,000
関東東部	千葉	5,000	10,000	2,000	17,000
	埼玉	1,000	1,000	1,000	3,000
	東京ひがし	10,000	10,000	1,000	21,000
	東京北	10,000	10,000	1,000	21,000
	東京グリーン	30,000	5,000	3,000	38,000
	東京江東	10,000	10,000	3,000	23,000
	川越	10,000	0	0	10,000
東新部	東京	50,000	10,000	2,600	62,600
	東京世田谷	4,500	4,500	1,000	10,000
	東京目黒	3,000	1,500	500	5,000
	信越妙高	1,000	1,000	500	2,500
	東京むかで	5,000	4,000	1,000	10,000
	東京コスモス	2,000	3,000	0	5,000
	東京まちだ	10,000	5,000	0	15,000
	東京南	5,000	5,000	5,000	15,000
	東京センテニアル	4,000	4,000	2,000	10,000
	あずさ部	甲府	5,000	5,000	2,000
東京山手		5,000	0	0	5,000
東京西		6,000	3,000	1,000	10,000
甲府21		8,000	5,800	1,200	15,000
東京八王子		5,000	5,000	1,000	11,000
東京サンライズ		5,000	5,000	2,000	12,000
東京たんぼぼ		5,000	0	0	5,000
東京武蔵野多摩		5,000	5,000	1,200	11,200
東京セントラル		5,000	5,000	0	10,000
湘南沖縄部		横浜	6,000	4,000	1,000
	横浜ノース	5,000	5,000	1,000	11,000
	横浜とつか	5,000	5,000	2,000	12,000
	横浜つづき	5,000	0	0	5,000
富士山部	伊東	10,000	0	0	10,000
	富士	3,000	0	0	3,000
その他	東日本区メネットの集い	98,000			98,000
	合計	381,000	164,300	47,000	592,300

一年を終えて

北海道部メネット事業主査

義村小夜子（札幌北クラブ）

北海道部今年度は部会や研修会で、メネットの交流は出来ませんでした。

5月18日中田北海道部長の公式訪問を受けて、義村宅にて札幌クラブも合流して毎年恒例のクrofネつつじの会を開催しました。日頃の雑事を忘れて、花と団子とお喋りに時の過ぎるのを忘れるほどでした。食後は美味しい和菓子と抹茶をいただき、来年も元気に集えるように念じる年齢です。



一年を終えて

北東部メネット事業主査

田村成子（仙台クラブメネット）

最初は何も分からず不安のままの出発でした。メネット委員長さんや他の主査さん達に頼り切りの一年でございました。メネット委員長さんには、北東部部会のメネットアワーや各クラブのメネット・ナイトなどに出席いただき楽しい一時を過ごさせていただきましたことは、とても楽しく思っております。委員会へは一度も出席出来ませんでしたので、せめて最後の東日本区大会へは出席し、少しでもお役に立ちたいと思い、お手伝いできて、役目を終えたことにホットしております。7月7日の新旧メネット委員会へは、今期の主査、加藤メネットと出席して来ました。委員長さんや各主査さんの今後の活動への期待と来年の国際大会へ向けての準備など、ご苦勞を感じてまいりました。これらの貴重な経験を、今後のメネット活動に少しでもお役に立てたらと思っております。この一年間、皆様のご協力、ほんとうにありがとうございました。

関東東部メネット活動報告

関東東部メネット事業主査

鈴木久子（東京ひがしクラブ）

1 関東東部部会
メネットアワー

関東東部のメネットの動きは9月13日の関東東部部会から始まりました。この日は部会に先立って10時から

メネットアワーを開催し、清水理事の提唱する環境問題を取り上げ、財団法人・省エネルギーセンターの山川文子さん（写真）を講師にお招きし、「地球温暖化防止と私たちの暮らし」と題した講演をお聞きしました。このメネットアワーには松本メネット委員長をはじめ、約20名のメネットとメンの皆さんにも出席して頂き、その後に実行された環境キャンペーンのさきがけを務めることができました。

2 「関東東部メネットの集い」開催中止

06-07年度までは関東東部の各クラブメネットの親睦の「メネットの集い」を開催してきましたが、07-08年度に引き続き、本年度も開催するに至りませんでした。

理由としては、各クラブからのメネットの参加者が少なくなってきたことにあります。また参加クラブも東京江東、東京グリーン、東京北、東京ひがしの4クラブが中心となるため、日頃顔を合わせる機会が多く、敢えて「メネットの集い」を開く必要性がなくなってきております。しかし、今まで東日本区に於いて部単独で「メネットの集い」を開催してきたのは関東東部だけです。今後復活ができるよう、メネット活動を活発にしてゆきたいと思っております。

3 各クラブメネットナイト開催

「関東東部メネットの集い」は開催されませんでした。4月15日、東京グリーンクラブ・東京ひがしクラブ合同メネットナイトを開催し、8クラブからメン、メネット約60名が出席しました。



ゲストスピーカーにお招きした姉齒暁（あねは あき）先生（駒沢大学経済学部教授）からは「ショックな食な話」と題して、食の安全性（狂牛病、遺伝子組み換え、食品偽装）に係る卓話していただきました。私たち女性として家族の健康を守る為に、いかに賢くあるべ

きかを教えて頂く多くの示唆が含まれていた
と思います。そのほか、東京江東クラブ、東京
北クラブでは単独でそれぞれメネットナイト
が開催されました。

4 東日本区国内プロジェクト「絵本を贈る運
動」に協力

本年度のメネット国内プロジェクトによる
「絵本を贈る運動」では関東東部関係の以下の
3 YMCA・17 児童施設に絵本が贈られました。

茨城 YMCA 1 施設、埼玉 YMCA 4 施設、
東京 YMCA 1 2 施設

このことを覚えて、次年度はより一層の献金
をお願いしたいと思います。

東新部メネット事業主査としての1年半

須藤玲子(東京南クラブメネット)

東新部メネット事業主査としての1年半、予想
以上に仕事が忙しくなり、お役に立てなかったこ
とを大変心苦しく思っております。

東新部メネット事業として行ったことは、部会
大会においてのメネットアワーで友人の清家篤
氏に依頼し、「生涯現役社会の条件」と題しての
講演会とティーアワーへのご奉仕のみで、その他
は東日本区メネット事業へのご協力ということ
でした。

ただ、私個人としましては、ワイズメンズクラブ
を広く知ることができ、素敵な方々とお近づき
なれて、また東陽町のYMCAも身近に感じるこ
とが出来、本当に素晴らしい経験をさせていただ
けたと感謝しております。

せめて7月の最後の引き継ぎの会には出席を
とって予定しておりましたが、会議が入ってし
まい、最後までご迷惑をかけることになりました。
フルタイムの忙しい仕事を持つ人間にはメネッ
ト活動は難しいと痛切に思いますが、条件が整う
方で、素敵なメネット事業を継続されることを心
から願っております。

メネットの思い

あずさ部メネット事業主査

眞野みつ子(東京八王子)

始めて事業主査をお受けし、委員会記録をまと
めたり皆様との交流を通して、メネット事業のこ
と、メネットのスタンスについて、理解を深める
ことができました。

歴代委員長懇談会では、皆様のメネット会に対
する熱い思いとメンをサポートしているという
自信を感じることができました。クラブ内ではメ
ネットは遠慮がちですが、これからは共に楽しく
サポートして参りたいと思います。

あずさ部では3クラブ合同メネット会が開催
されました。2008-2009年度の当番クラブは甲府
21クラブで、八ヶ岳でお料理教室と薬用植物園
見学でした。



年に1度の交流ですが再会の喜びと親しさが
増し、とても恵まれた一日をすごすことができ
ます。今回あずさ部全クラブのメネットさんに呼び
かけましたが、松本メネット委員長と3クラブの
メン、メネットの計26人の参加となりました。

今後メネット会のないクラブのメネットさん
も是非私たちに加わって下さることを願って
おります。

主査になって

湘南・沖縄部メネット事業主査

長島淑恵(横浜ノース)

主査になり、一年が経過し、前期の「メネット
アワー」から始まり「メネットのつどい」、幼稚
園・保育園への絵本の配布、最後は東日本区大会
と多忙な一年でしたが、とても充実し、多数のメ
ネットの方々と交流し、同じ時間を過ごせたこと
が、大変有意義に感じられました。

私の部は、メネットが3クラブですが、交流も
なく任期満了になりましたが、個々のクラブでは
活動されています。数年前「とつかクラブ」でメ
ネットの集会有り、ミニバザー等をいたしました。
そのような機会があればより良いメネット会
になることでしょう。次回の主査の方にお願
いしたいと思います。

この一年、楽しい活動が出来ましたことは、健
康と皆様に感謝いたします。



Note & News

国際会長 “ Be the Light of Hope ”
 アジア会長 “ Be the Light of Hope ”
 東日本区理事 “ Step Forward: For the Future, into the World ”

2009.7.31 発行 第3号 通巻36号

2008 - 2009年度メネット事業報告

『ささやかなるしずくすら』

東日本区メネット委員長

松本倫子(東京クラブメネット)

東日本区ワイズメネットの皆様と、この一年間私と共にご奉仕くださった主査の方々に心から感謝を申し上げます。メネットアワーが開かれた部会、メネットナイトをお知らせ頂いたクラブ例会には出席し、生き活きと活動されているメネットさん達の姿を頼もしく拝見しました。人数が少なくても、近隣の仲間と手をつなぎこれからもメネット活動を続けられる事をお願いいたします。一年間の報告をいたします。

国際プロジェクト

前年より引き継いで、ウガンダの首都カンバラ・ブワンボ地区HIV/AIDS啓発・予防センター開設の支援に献金。(164,300円)

国内プロジェクト

皆様の献金により9YMCA, 52施設に絵本274冊を贈る事が出来ました。(絵本代及び送料: 408,000円)メネット会の無いクラブからもご協力頂きました事を感謝いたします。

贈り先は次の通りです。

北海道YMCA : 3ヶ所

仙台YMCA : 7ヶ所

茨城YMCA : 1ヶ所

とちぎYMCA : 1ヶ所

埼玉YMCA : 4ヶ所

東京YMCA : 12ヶ所

横浜YMCA : 21ヶ所

山梨YMCA : 2ヶ所

熱海YMCA : 1ヶ所

贈り先の保育園などのお子さんが画いて下さった絵、そして絵本を前にしての可愛い写真

やお先生からのお礼の言葉等を沢山頂きました。次ページに掲載しますが、残念ですが誌面の都合でほんの一部です。

なお日本YMCA同盟の山添主事さんに、絵本の注文や発送の件で大変お世話になりありがとうございました。

第12回東日本区メネットの集い

2008年11月29日(土)11:30~15:00

(於)東京YMCA社会体育・保育専門学校

「欲張って生きよう」と題して、作家 難波田節子氏の講演を拝聴しました。国際大会・東日本区大会のアピールもあり、皆様の献品によるバザーもありで、賑やかに楽しい時を過ごす事ができました。(出席者64名)

東日本区元メネット委員長&メネット委員会懇談会(清水、原理事・鈴木所長陪席)

2009年2月6日(金)

今年度目標の一つである「メネット会の活性化」について忌憚のない意見を出し合いました。新クラブが出来る時、入会員がある時には必ずメネットの説明をして一人でも仲間を増やす事で活性化を期待する、又委員長は元メネットで、現女性メンにもお願いする事がある等を決めました。

第12回東日本区大会(十勝クラブに感謝メネットツアー)

6月12日「共働学舎新得農場」と「十勝千年の森」を見学しました。障害者も働く農場では、広い敷地内に点在する建物・チーズ工場・牛舎等を見学し、美味しいランチも頂きました。

P63へ続く